

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 45 巻 7 号

発行所 高槻市大学町 2 ノ 7
〒569- 大阪医科大学仁泉会

8686 電 話 072-682-6166

FAX 072-682-6636

発行者 河 野 公 一
6,080 部U R L <http://www.jinsenkai.net/>

平成 26 年仁泉会定時評議員会・総会が開催されました

平成 26 年の仁泉会定時総会および評議員会が、去る 5 月 25 日に母校歴史資料館において開催されました。当日は大学より植木實理事長、竹中洋学長にご来席頂き、平成 25 年度の決算、事業報告等の議案が討議され各項目が可決承認されました。

平成 26 年 8 月号 目 次

1. 平成 26 年仁泉会定時評議員会・総会が開催されました 1p
2. 平成 26 年度仁泉会総会報告 2p
3. 学会報告
 - 第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会 特別会員 花房俊昭 … 16p
4. 学窓
 - 西医体壮行会報告 18p
5. 支部だより
 - 報告 京都仁泉会学術講演会 学 37 期 寺村和久 … 19p
 - 平成 26 年度仁泉会高槻支部総会報告 学 42 期 合田公志 … 20p
 - 吹田支部総会報告 学 33 期 御前 治 … 22p
 - 平成 26 年度仁泉会神戸支部総会報告 学 29 期 増井裕嗣 … 24p
6. クラス会だより
 - 寿久会（高医 19 期）便り 吉野・飛鳥を訪ねて 高 19 期 横田友二 … 26p
 - 44 クラス会の報告（学 18 期） 学 18 期 宮地道弘 … 28p
7. 仁泉ひろば
 - どうでもエエ話（3） 学 4 期 西村 保 … 29p
 - 元軽音楽部員の皆様へ - OB 会発足のお知らせ - 学 21 期 高松順太 … 29p
 - 座談会「日本人の脳梗塞急性期抗血小板療法を再考する」 学 40 期 大谷 良 … 30p
8. 会員著書 学 23 期 假野隆司 … 32p
9. 冊子・新聞切り抜き
 - 小高正裕先生、鈴木克司先生、細井 順先生 33p
10. 本部だより
 - 支部活動の活性化を目指して（平成 26 年度仁泉会関東地区懇談会報告並びに今後への対応）
..... 学 20 期 安藤嗣彦 … 36p
 - お詫びと訂正 37p
11. 編集後記 37p

仁泉会総会報告

去る 5 月 25 日（日）母校歴史資料館にて定時総会及び評議員会が開催されました。河野公一理事長が議長となり午後 2 時より評議員会が開催され、午後 3 時より高槻支部長で学 22 期の樺原茂之先生が議長に選出され総会が開催されました。平成 25 年度の事業報告、決算案等の議案が原案通り可決承認されました。総会終了後、母校地下食堂にて懇親会が開催されました。和気藹々の歓談の中、校歌を斉唱し盛会裏に終了致しました。

次回は平成 27 年 5 月に大阪にて開催予定です。以下当日のご挨拶要旨を掲載させていただきます。



河野公一 理事長

仁泉会理事長 総会ご挨拶要旨

理事長 河野公一

学部 21 期の河野でございます。平素から先生方には仁泉会の活動にご助力、ご支援、ご理解を賜りますことをこの場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。本日は、25 年度、先ほど

安藤先生からもいただきましたように 25 年度の決算、そして 26 年度の事業の予定、そして予算案、その他いろいろご議論願わなければいけない総会でございます。新法人になりましてから理事会とこの総会あたりが非常に大事でございまして、この場で忌憚のないご意見等も先生方から賜りたいという風に思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）



歴史資料館

大阪医科大学理事長 総会ご挨拶要旨

学校法人大阪医科大学
理事長 植木 實

皆さん、こんにちは。植木でございます。本日は、年 1 回の総会ということで、母校で開催の総会にお集まりいただきました。皆さんの元気なお姿を拝見いたしまして大変嬉しく思います。日頃は、本学のためにいろいろとご尽力賜りまして、本当に感謝しております。本題に入ります前に、最初に仁泉会員からご遺贈をいただきました件につきまして、皆さんにご報告を申し上げます。学部 14 期の四方朋子先生が、平成 25 年 1 月にお亡くなりになりました。その際、ご本人の遺言状により、本学は遺産のご遺贈を受けることになりました。このような大きなご遺贈は、本学にとりまして初めてのことでございます。現在、遺贈の内容につきましては遺言執行人により整理中であり、調査が終わり確定しましたら、皆様に正式にご報告をしたいと思っております。なお、このご遺贈につきましては、本学で医学を学ぶ後輩たちのための教育に使ってほしいというご本人の強い希望がございました。本法人といたしましては、そのお気持ちに沿いまして、四方朋子先生のお名前を冠した医学部学生のための奨学金制度を設け、一部は学生の教育研究整備費に配分したいと思っております。また、本法人では四方先生のお気持ちに感謝し、永久に記念するために、本法人の校賓規程に則りまして、芳銘板に特別校賓としてお名前を刻むことにいたしました。併せて、本年 4 月から本学内の総合研究棟前の広場を憩いの広場として市民に公開しましたが、そこを通称・四方広場とし、すでに仮の看板をかけております。いずれ銘板に刻み、永久に記念したいと考えております。なお、本法人といたしましては、5 月 8 日に東大阪の往生院六萬寺に四方家の永代供養をお願いし、その法要を執り行いました。ご親族、同期の島田元学長も含め 14 期の方々、並びに本学から私、常務理事、事務員等が参列しまして、墓前にて滞りなく供養を相済ませました。ここに四方朋子先生の本学に寄せられました尊いご遺志に対



植木 實 理事長

しまして、深甚なる感謝を表したいと思えます。この件につきましては、次回の仁泉会ニュース及び学報に掲載をして感謝を申し上げたいと思えます。以上、慎んでご報告を申し上げます。

それでは、今日の皆さんへのご挨拶といたしまして、大学の現状について今年のアニュアルレポートに掲載いたします私の文章の別刷りができあがりまして、お配りしご説明申し上げます。ご理解をいただきたいと思います。今年のタイトルは「最優の医科大学の具現」パート 4、「長期目標達成のヒエラルキー」であります。平成 25 年度は、教職員の努力により附属病院の入院稼働率が非常に上がりまして、経営も安定してまいりました。しかし、26 年度は消費税が全体として 5 億円ぐらい乗ってくること、それに DPC の保険医療費の改定により数億円は減収になる予測であります。まず、図 1 でありますが、この最優の医療系大学・学園を目指した長期目標ヒエラルキーとして、本法人の努力や将来の目的などをまとめています。一番大事な学校法人経営の要点は、一番下に書いてありますように、本法人の安定性と継続性であります。経営が悪くなりますと教育ができなくなりますので、法人にとって経営が安定することが最重要であります。それから、公共性があることや信頼性があること。その上で自主性・自律性（特色）があることです。

最優の医療系大学・学園を目指した長期目標のヒエラルキー



図 1

また、その実現に向けたガバナンスは、それらへの舵取りを意味します。まず就任後、最初に私が行いましたことは、病院経営力の改善・財務力の向上であります。そして、人材の育成と、ガバナンスあるいはマネジメントシステムの改善であります。本学は、今までの経営を見ておりますと、各部署はそれぞれ袋予算を作って、それを年度末に使ってしまうというところが見えました。今はそれを改善し、予算の執行をしっかりとやっております。その次に、最良の医科大学に向けては教育・研究・医療の向上というものを見据えて、特に臨床関係について評価をしております。それから、3 番目に大学力の強靱化を目指しました。これは、やはり何と言っても人材の確保であります。人材の育成は、昨年からは SSD (Staff Self-Development) という言葉で皆さんに説明をしており、自ら学習し、考え、実行をすることです。スタッフの S は、学生は Student という風にも読み替えられます。そして、そのように自分で努力することによりまして、自分自身、誠実性（いわゆるインテグリティ）などの大切な

人間性の涵養ができ、人材が育成されると思います。この SSD を各々がしていかなないと、いつまで経っても本学は伸びないと考えます。昨年からは『連携と成長』のスローガンを掲げまして、法人合併の推進と病院建築に取りかかってきました。4 月 1 日に高槻中学校・高等学校と法人合併し、看護学部の大学院看護学研究科、いわゆる修士と博士課程の同時設置ができました。そして、新しい保育所もこの看護学部の敷地の奥に完工しました。次に、中央手術棟は 8 月に着工いたします。一方、大阪薬科大学との法人合併につきましては継続審議中であり、数年後には法人合併する可能性があると思っております。このように我々が努力することで、本学は医療系大学・中等学園への発展を目指しています。そして、新病院の完成、COC (Center of Community) の確立、さらに USR (University Social Responsibility)、いわゆる大学の責任・責務を果たしていきたいと思っております。

上述の高槻高等学校との法人合併は図 2 のようになり、学校法人大阪医科大学と学校法人高槻高

学校法人高槻高等学校との法人合併について

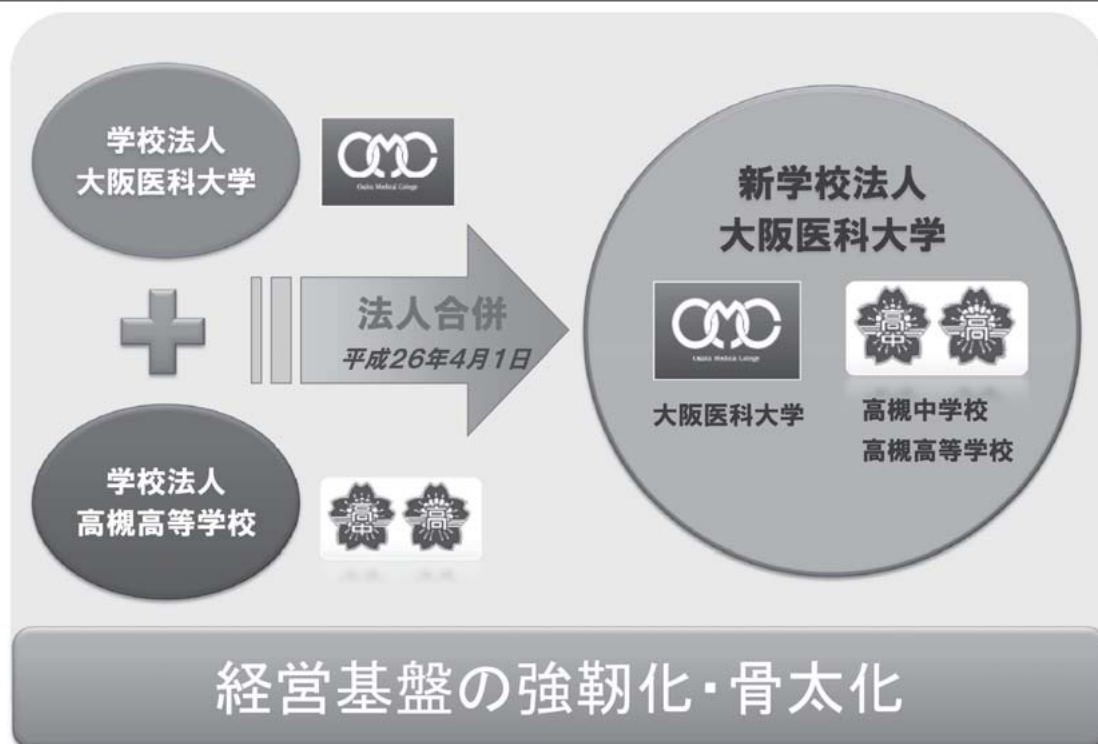


図 2

等学校は、対等合併で新学校法人大阪医科大学になりました。この新しい法人のもとに大阪医科大学と高槻高等学校・中学校は運営されます。図 3 は、高槻高等学校の正面であります。

看護学部につきましては、図 4 に示します。ご承知のように、本学の 80 年余の歴史を有した看護専門学校あるいは看護学校は、4,000 人余りの看護師を輩出してまいりました。昨今の医療の高度化に伴いまして、高等看護師の必要性に迫られ、文科省のすすめもありまして看護学部を設置しました。そして 4 年目を迎え、今年初めての卒業生が出ました。看護師と保健師、そして助産師が同時に誕生しました。この卒業生たちのモチベーションを上げるためにも、大学院、いわゆる看護学研究科を設置することになり、文部科学省から認可されました。この博士前期課程（いわゆる修士）と後期課程（いわゆる博士課程）が同時に設置されるというのは、非常に稀であります。ここ数年で他大学に多くの看護学部ができましたけれども、私学関係ではほとんど大学院を置いておりません。そういう意味でも、非常に良い方向で看護

学部が成長しているといえます。

次に、法人経営の改善と安定に向けて述べます。図 5 は 3 年間の延べ入院患者のグラフであります。今年は毎月 500 人から 1,000 人増のベッド数が稼働し、より入院患者数が増えました。それがベースになり、図 6 のように法人の収支差額は平成 22 年度から 23 年度、24 年度と回復し、25 年度は 27 億 5,700 万円の黒字を達成することができました。これは実質帰属収支差額といわれるもので、寄付金など一時的なものは全部省いた、いわゆる収入と収支の実質の差額でのキャッシュを意味しております。そういう意味で、大学としては非常に経営が安定してきたといえます。次に、中央手術棟の着工についてであります。今まで皆様方にいろいろ説明をしてまいりました。図 7 は完成予想図であります。ここに設計の概要が、図 8 に示してあります。1 階は手術材料を中心に、2 階は ICU16 床と、日帰り手術室 4 床およびそのリカバリールームから構成されます。3 階は全て手術室で、ハイブリッド手術室 2 室、ロボット手術や内視鏡専用の手術室 5 室、そして無

高槻中学校・高等学校



図 3

看護学部について



看護学部看護学科（平成22年4月 開設）



看護学部研究棟（平成22年3月完成）



取得可能な資格
● 看護師国家試験
● 保健師国家試験
● 助産師国家試験

大学院 看護学研究科

～平成26年度開設～

博士前期課程(修士)

博士後期課程(博士)

- 教育研究者
- 専門看護師

図 4

延入院患者数の推移

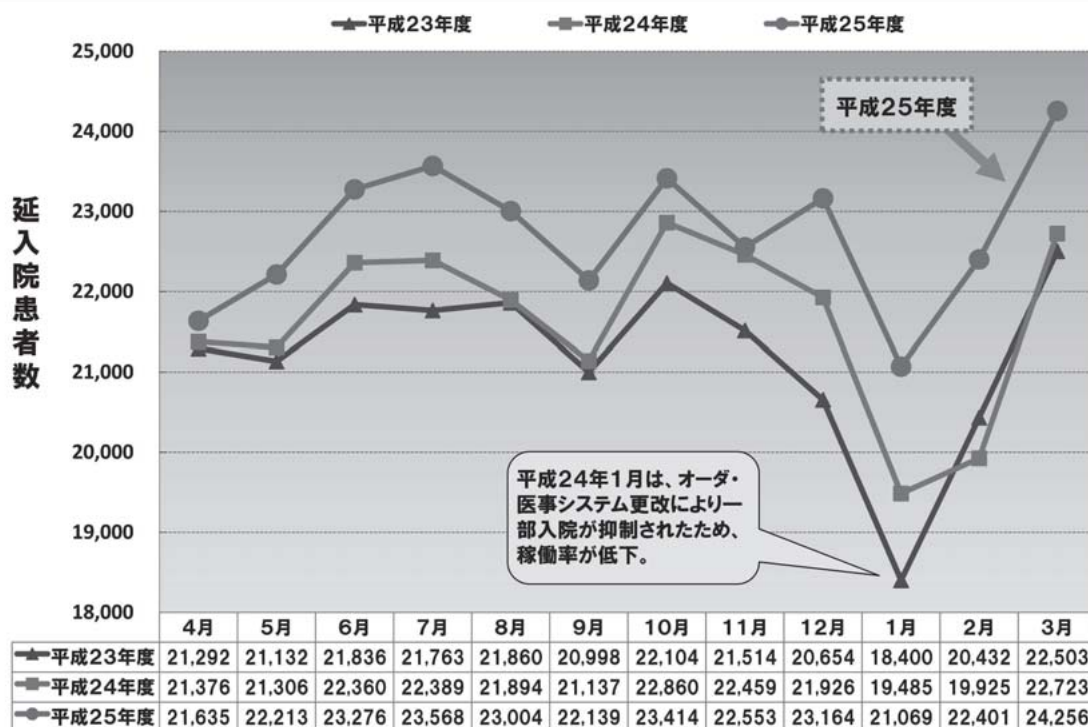


図 5

法人の実質帰属収支差額の年度別推移(大学全体)

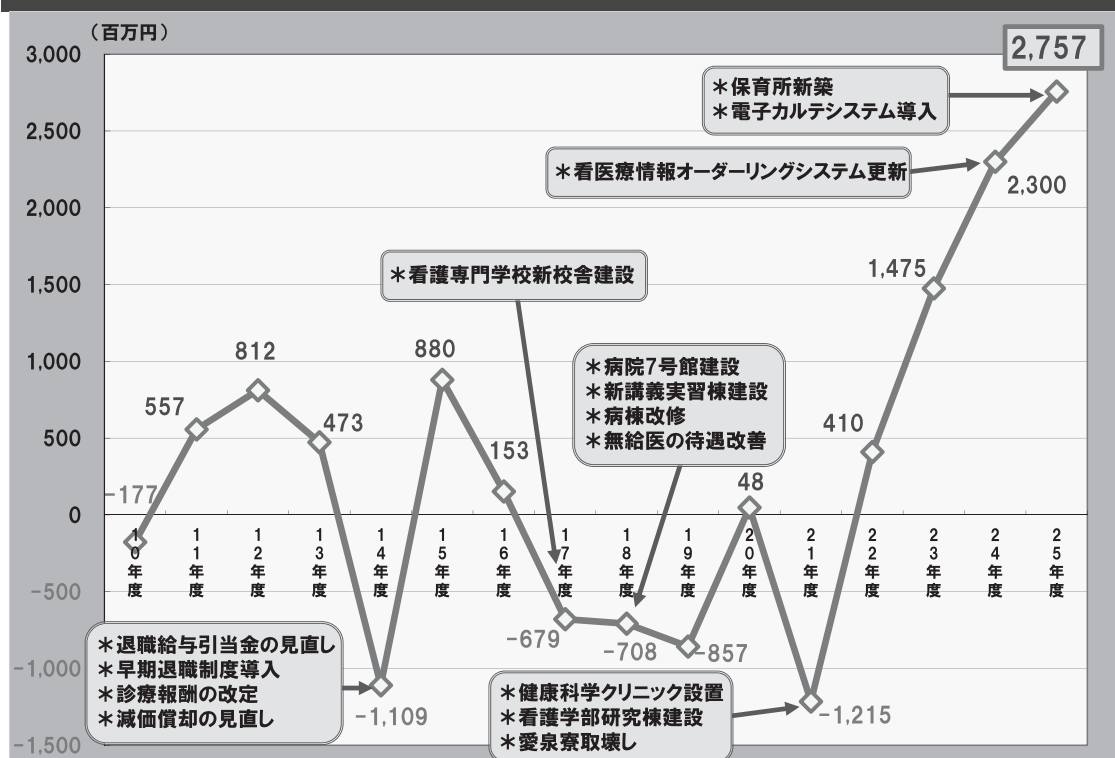


図 6

中央手術棟 外観イメージ(南東面)



図 7

中央手術棟の概要



[中央手術棟] 地下1階 地上6階建 鉄筋コンクリート造
 [建築面積] 3, 151㎡ (約 953坪)
 [延床面積] 14, 168㎡ (約4, 286坪)

地上6階	・ 機械室を設置
4階・5階	・ 急性期病棟として心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科系の病室86床並びにハイケアユニット(HCU)を4床配置
3階	・ 特定機能病院として超急性期に対応する16室の手術室を設置 (ハイブリッド手術室2室、ロボット手術・内視鏡手術室5室、BCR2室、感染対応室1室、汎用型6室)
2階	・ 集中治療を行うためのICU16床(個室12床、総室4床)と、日帰り手術を行うための手術室を4室設置し、そのリカバリールームを配置
1階	・ 20室の手術室に機器・機材を供給するための中央材料室を中心にした配置
地下1階	※ 将来的に新病院棟と接続する通路階を整備

図 8

新病院完成時のイメージ図(北西側上空より)

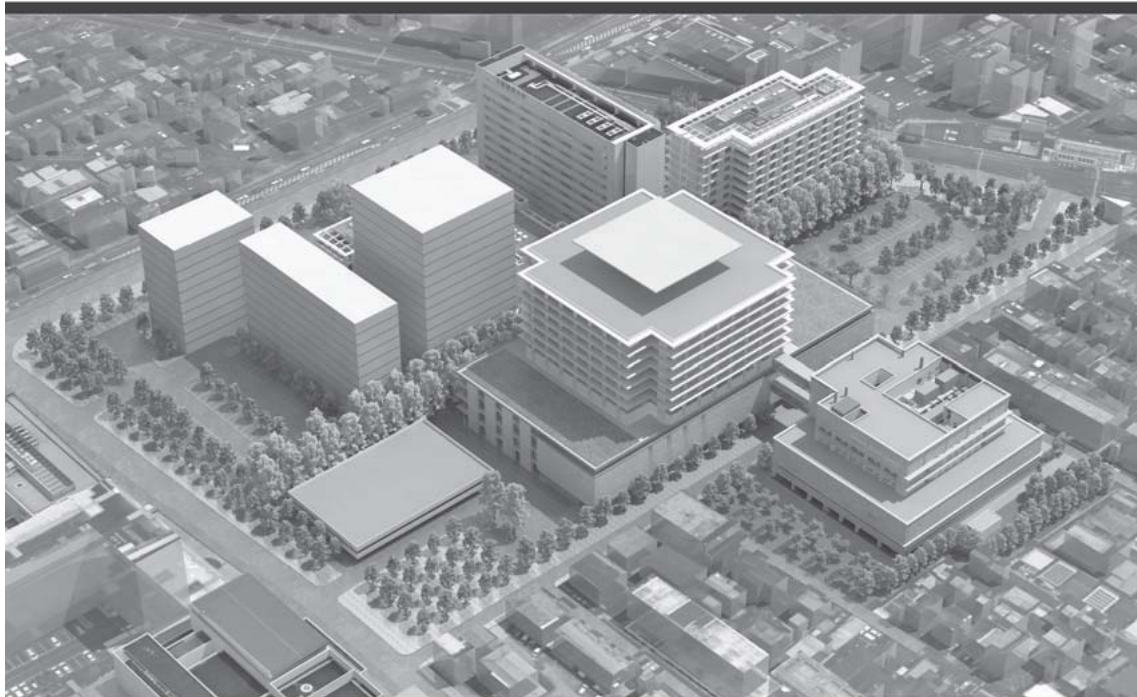


図 10

新学校法人のミッション(使命)

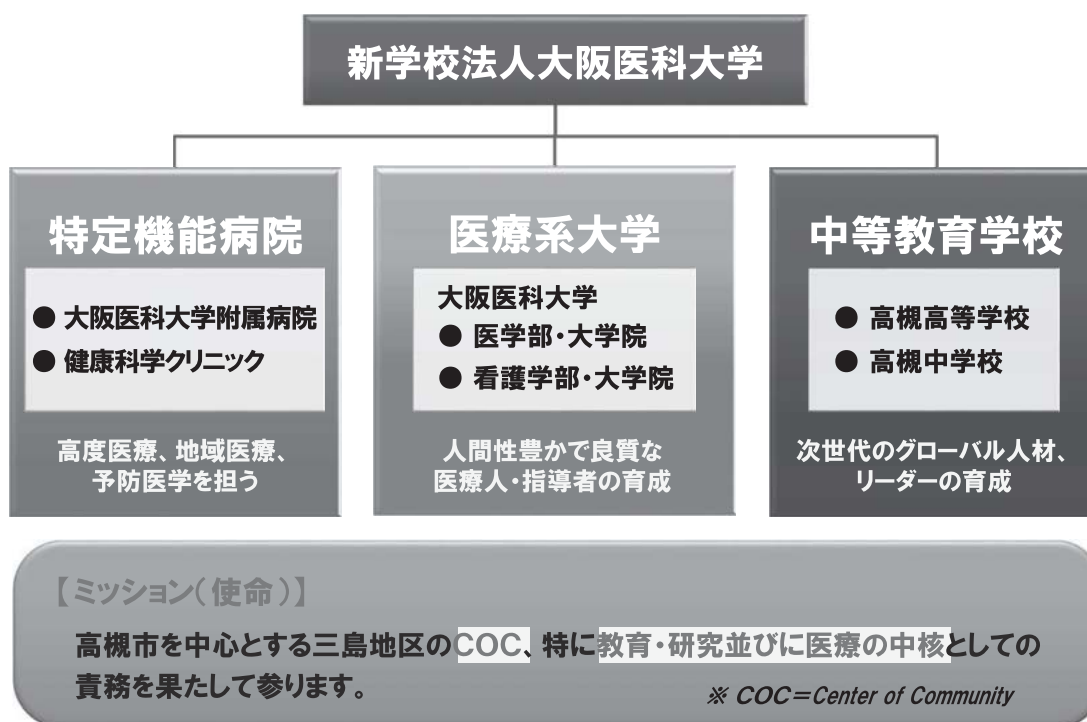


図 13

菌室や感染対応室、汎用型 6 室から成り、より高度な手術室ができます。本学は今、手術室が 13 室、実質 11 室と少なく、非常に待ち患者が多くて困っていますが、これで解消されると思います。4 階と 5 階は、心臓血管外科および呼吸器外科・消化器外科の術後の重症者が入る部屋として 2 病棟を設けております。この 8 月に着工し、だいたい 1 年半あまりで完成予定です。続いて、本部キャンパスの 5 号館や現在の手術室のある部分を取り壊し、そこに図 10 にありますような 13 階建てか 14 階建ての高層の建物を建築し、そこに集約をいたします。だいたい平成 30 年から工事にかかり、5、6 年で図のような姿になります。高い棟が病棟、南の阪急側の低層棟は、外来棟であります。北側の 6 階建て部分は管理棟になります。その前後の土地は、災害拠点病院の空間として緑の場所を保持する設計です。このような将来目標を策定しておりまして、今後は医療系の大学・中等教育学園への発展を目指して、新病院建築、教育研究整備、高槻高等学校・中学校の改革などを

推進してまいります。図 13 は新学校法人のミッションをまとめとして書いています。新学校法人大阪医科大学は、医療系の大学として医学部と看護学部を持ちまして、人間性豊かな良質の医療人の育成を図ってまいります。そして、特定機能病院として大阪医科大学附属病院と健康科学クリニック（分院）は、高度医療と地域医療、予防医学を担ってまいります。中等教育学園としての高槻高等学校・高槻中学校は、次世代のグローバル人材・リーダーの育成を掲げながら、進学校として真のトップクラスの学園になるよう、教員の質向上を図り、設備投資をしたいと思います。

以上のように、新法人のミッションは、高槻市を中心とする三島地区の COC、いわゆる Center of Community、特に教育研究並びに医療の中核となり、その責務を果たしていきたいと考えております。どうぞ皆さんにおかれましても、この方向性にご支援とご指導をお願い申し上げましてご挨拶にさせていただきます。本日は、ありがとうございました。（拍手）



集合写真

大阪医科大学学長 総会ご挨拶要旨

学長 竹中 洋

竹中でございます。本日は、看護学部の校舎で日本医学会総会の学生フォーラムを本学の学生が主催をしております、日本医師会の今村副会長もお見えです。京都大学からも沢山人がお越しになられています。植木理事長のお話がありましたが、教学の方で昨年からいくつかの出来事がございました。かいつまんでご紹介をしたいと思います。

1つは新任教授の就任でございます。河野先生それから病理学の芝山先生が昨年定年を迎えられました。その後、芝山先生の後任として昨年の8月に岐阜大学から病理学の廣瀬教授が赴任され、そして、河野先生の後任としては近畿大学から准教授をしておられました女性の玉置先生が赴任をされています。そして、今年の4月には生理学の窪田教授が退任をされました。窪田教授の後任としては、現在 NIH の室長をされています東京大学の生理学教室ご出身の小野富三人先生が6月16日の就任の予定で選考されております。また、大学院専任教授の選考もいたしました。吉田龍太郎先生が辞められたあと、少し空席になっておりましたが本学薬理学教室の准教授である高井先生が新たに大学院専任教授として選ばれております。7月1日の赴任の予定でございます。

大学院専任教授は、少し先生方が思っておられる今までの教授の先生とは違いまして、大学院そのものが研究をするだけではなく教育をする場所であります。大学院4年間で学位を取ること。そして、本学の研究施設を使うに足る教育をしていただくということが責務でございます。

昨年5月に申請をし、今年の1月に大学基準協会の受審の結果として、大学基準に合致しているという内定をいただきました。4月から平成19年に引き続き、大学基準協会の認証を受けた大学となっております。その際、本学唯一の改善事項として、大学院での4年間で学位を出すことということを指摘されております。そういった意味でも、大学院の基準化と標準化というのはとても重要なことでございます。今後、大学院専任教授を



竹中 洋 学長

中心として大学院運営を図っていきたいと思っております。現在、私立医科大学としては1学年54名でございますが、全部で210名ぐらいの定員を抱えておまして充足率は極めて高く、大学院長の南先生を中心に大学院改革が急ピッチで進むだろうと考えております。

それから、教育の方でございますが、昨年お話をいたしました国が求めている教育改革というのは急ピッチで出てきています。京都大学も阪大も神戸大学も、国立大学はすべて、各科卒業試験を廃止してでも病院のクリニカルクラークシップという参加型実習に踏み込む方向性を出してきております。本学もそういった教育改革を立案、周知をして実施をするというのが必要で、おそらく国立大学が平成27年度までにそういった道を取りますが、27年もしくは28年に本学も医学教育改革を強いられる。あるいは自主的に選択することになると思っております。そのためには附属病院だけでクリニカルクラークシップを1年少しと、それから病院実習と致しますと2年間は組まなければなりません。2年間で学生210人あるいは220人が病院実習をする場所を獲得しなければなりません、至難の業でございます。今後、大学から教育関連の病院の充実を皆様方のところにもお願いを致します。特に、地域医療の体験をどのようにさすかというのも大きな問題でございます。

まして、そういった点で仁泉会の先生方にもお願いをする事が多々出てくると考えております。

教育の方では 2 年間に渡りまして国家試験の合格率が低迷をしております。医学教育の改革とは別に、教授会といたしまして、国家試験に耐え得る、あるいは国家試験に合格し得る学生を卒業させるということでこの 3 月に教授会で審議をいたしました。その結果、現在、外部講師をお呼びをして、そして本学教員も参加をするという国家試験対策を 6 回生に実施をしております。私が学長になりまして 2 年目に 100% の国家試験の合格率、その次は 98%、そして 88、87 という経緯を取ってきておりますが、100% に達したときに同じようなことをしてございました。昨今の学生は自主的にはそういった学校の授業、課外授業になりますが、国試対策には積極的に参加をしきれないということもあり、今回は張り付きで私自身も国家試験対策委員会の委員長を務めておりますし、植木理事長も時々覗いてくださっています。今のところ学生は非常に協力的に参加をしております。また、5 回生にも同じような国試対策とは言いませんが、従来の病院実習だけではなく、水曜日の午後、2 時間ほど演習あるいは講義枠というものを付加をしております。また、5 年前に取り決めたいたしました、5 回生から 6 回生への進級試験を実施致します。従いまして、1 回生から 6 回生まですべての年度ごとに評価をするということは徹底させます。5 回生から卒業まで何のチェックも受けないということは今年からは起こらなくなるとお考えいただきたいと思います。

次に研究の方でございますが、4 年前から積極的に取り組んでおります産官学連携事業が平成 25 年度は 4 億円余の対外資金を獲得することができました。私自身の希望としますと、任期中に 1 億円規模であった科研費等々を 5 億円規模まで上げたいという風に思っております。あと 1 年頑張っ、現在 4 億 1,000 万ぐらいまで来ておりますので、5 億円にはしたいと思っております。主なものは、鏡視下手術における単孔式のデバイスの開発は一般消化器外科、それは単独で 1 億 8,000 万円ほど取っております。それから次に、循環器外科がします血管のパッチのための修復素材の開発。それから看護学部を中心にやっており

ますエコーを使った微細病片を外来等々でも簡単に見ることができる機器等が今、経産省の課題解決型医療機器の開発にノミネーションされております。それから、農水機構と組んで緑茶を使い糖尿病が予防できる、あるいはアレルギー性鼻炎が予防できる、あるいはインフルエンザウイルス感染が免れることができる等々の研究もしております。そういったもので 4 億円強の研究費をいただいているというのが現状でございます。今後は、基礎医学の方からもできるだけそういった大きな研究費が取れるようなものを組んでいただくようお願いをしております。

また、パナソニックと組みまして日本で初の電子版の大阪医大教科書がほぼでき上がっております。4 月から 6 月まで、図書館と P301 という教室で学生に公開をしております。これが完成いたしますと、学生はいついかなる場所でも自学自習をする教材を手にするということになります。ただ 1 点、監修を含めまして著作権の問題をどのようにクリアしていくかという点が残っておりますので、皆様方に見ていただくのにはもう少し時間がかかると思いますが、学内では閲覧が可能になっております。今年の後半に PA 会に資金を負担頂き、学生用の新たな電子媒体機器の手当がつきます。そうなりますと、学生 1 人 1 人が大阪医大の検査データ、CT・MRI、臨床の医師がまとめたレポート、全て匿名化された上での情報ではございますが、それが教科書の形で入手可能となります。

最後に看護学部ですが、大変活発な活動を続けております。今年 14 名の大学院生の入学がございました。今後は大学院の共通化、あるいは研究テーマの共有化、そういったことを両方の学部で話し合っていく時期がきたのではないかという風に考えております。資料がない状態でお話をいたしました、教学といたしますと限られた人、そして施設の中でできるだけの努力をしてきたつもりではございますが、6 学年 110 人体制に今年でなります。そうなりますと既存の施設等々にもいろいろ問題が出てきております。今後法人と相談をさせていただきながら教学環境の改善にも努めていきたいという風に思っております。ありがとうございました。（拍手）

平成 25 年度 事業報告書

1. 学術研究振興研究援助事業

全国規模的学会に対し、平成 25 年度には 4 学会に助成を行い、機関紙仁泉会ニュースにて報告を行った。

- (1)第 40 回 日本小児栄養消化器肝臓学会
大阪医科大学小児科学教室
- (2)第 35 回 日本小児体液研究会
大阪医科大学泌尿生殖・発達医学講座
- (3)Japanese Society for the Advancement of
Women's imaging (JSAWI)
大阪医科大学産婦人科教室
- (4)第 41 回 日本潰瘍学会
大阪医科大学内科学Ⅱ教室

2. 奨学金貸与事業

平成 25 年度に採用された奨学生は 7 名であり、各々年額 60 万円の奨学金を貸与した。

貸与総額は 54,147,000 円である。

3. 本部諸事業に関する事項

1) 大阪医科大学への後援事業

- ①母校 90 周年募金事業活動として、パンフレットを全会員に向け発送し、また本部主催の会合において、パンフレットの配布を行った。
- ②平成 25 年度卒業生の藤井裕子さんに対して仁泉会理事長賞を授与した。
- ③西医体に援助を行った。
- ④学園祭に援助を行った。
- ⑤母校の活動報告として、学報及び OMC ニュースを年 4 回全会員に向け発送した。
- ⑥母校役員・教授との合同懇談会を開催し、意見交換を行った。
- ⑦既卒者の国家試験合格支援として、援助を行った。

2) 会員の福利厚生への事業

- ①会員の動向把握を行い、物故会員 74 名に対して供花料及び弔電を送った。
- ②会員相互の親睦交流を深める為に、平成 25 年度中に企画されたクラス会の開催について案内状発送等の補助を行った
- ③平成 25 年度の長寿会員に対して傘寿祝の記



櫛原茂之 議長

念品を贈呈した。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①関東地域在住の会員を対象に、関東地区懇談会を開催し、関東地区での同窓会組織立ち上げを行った。
- ②支部会開催にあたり、案内発送等の代行補助を行った。

4) 全国私立医科大学同窓会連絡会との連携事業

- ①第 23 回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」の当番幹事として開催し、同窓会が抱える問題と解決法について協議を行った。
- ②第 19 回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」に出席し、西部会開催の報告を行い、出席各校と情報交換を行った。

5) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」を年 10 回発行した。
- ②フェイスブックに仁泉会ページを作成し、各種案内及び行事報告を行った。

6)

①新入会員に関する事項

平成 26 年 3 月の母校卒業生は 95 名で、全員の入会があったので平成 25 年度入会者は 95 名である。

②会員数に関する事項

平成 26 年 3 月末日現在の会員数は 5,491 名である。

③物故会員に関する事項

平成 25 年度に届出のあった物故会員は 76 名である。(※氏名詳細次頁)



懇親会風景

④役員に関する事項

平成 26 年 3 月末日現在の役員は次の通りである。

理事長 1 名、副理事長 2 名、常任理事 6 名、理事 9 名、監事 3 名、参与 6 名 合計 27 名

⑤会議に関する事項

平成 25 年度に開催した会議は次の通りである。

(1)総会 1 回、評議員会 1 回、理事会 8 回、監事会 1 回。

(2)第 23 回私立医科大学同窓会連絡会全国会及び第 22 回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会に仁泉会役員が出席し同窓会活動について協議を行った。

⑧本部支部間の連絡に関する事項

本部支部間の連絡並びに学内の状況説明のため 11 回各支部へ役員を派遣した。

⑨組織強化に関する事項

支部会及びクラス会開催にあたり、案内発送等の代行を行った。また、支部活動が休止していた静岡県支部に役員を派遣し仁泉会及び母校の近況を報告した。

⑩会員の福利厚生に関する事項

平成 24 年度の長寿会員 39 名に対して傘寿祝の記念品を贈呈した。

⑪会費免除者に関する事項

平成 24 年度より会費免除となった会員は 39 名で平成 25 年 3 月末日現在の長寿会員（免除会員）数は 623 名である。

⑫母校募金事業に関する事項

母校が行っている募金事業のパンフレットを全会員に向け 2 回発送した。 以上

残暑お見舞申し上げます。

厳しい暑さが続いております。
ご自愛のうえ いよいよご発展を
お祈り申し上げます。

平成 26 年 晩夏
大阪医科大学仁泉会役員一同

財 産 目 録

法人名：一般社団法人 大阪医科大学仁泉会
事業名：事業全体

平成 25 年 3 月 31 日決算

単位 円

科 目	金 額	
I 資 産 の 部		
流 動 資 産		
現 金 預 金	202,911	
預 金		
流 動 性 預 金		
普通預金	一般会計 三井住友銀行他 特別会計 三井住友銀行他	6,764,823 6,082,594
郵便貯金	一般会計 特別会計	1,891,928 3,801,903
未 収 金	特別会計奨学金返還口座引落金	2,014,000
流動資産合計		20,758,159
固 定 資 産		
基本財産		
預 金	普通預金 みずほ銀行 定期預金 大阪府医師信用組合 普通預金 三井住友銀行	10,563,097 140,000 5,000,000
基本財産合計		15,703,097
特定資産		
預 金	定期預金 三井住友信託銀行（旧住友信託銀行） 定期預金 三井住友銀行 定期預金 三井住友信託銀行（旧中央三井信託銀行）	107,717,918 110,000,000 70,000,000
奨学費貸付金	奨学金	54,147,000
退職給与引当預金	定期預金 中央三井信託銀行	3,650,370
特定資産合計		345,515,288
什器備品	事務局備品	49,014
その他の固定資産合計		49,014
固定資産合計		361,267,399
資産合計		382,025,558
II 負 債 の 部		
流 動 負 債		
未払金	平成 25 年度理事会出席交通費	717,372
預り金	府連会費預り金	138,000
負債合計		855,372
正 味 財 産		855,372
		381,170,186

平成 25 年度収支決算書総括表

【従来様式】

法人名：一般社団法人 大阪医科大学仁泉会

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日決算

科 目	合 計	一般会計	基金特別会計
I 取 入 の 部			
基 金 取 入	470,921		470,921
入 会 金 取 入	870,000	870,000	0
会 費 取 入	24,500,000	24,500,000	0
寄 付 金 取 入	0	0	0
雑 収 入	1,357,475	1,349,154	8,321
奨 学 金 返 還 金	4,864,000	0	4,864,000
繰 入 金 取 入	0	0	0
当 期 取 入 合 計 (A)	32,062,396	26,719,154	5,343,242
前 期 繰 越 収 支 差 額 額	18,364,819	7,550,305	10,814,514
収 入 合 計 (B)	50,427,215	34,269,459	16,157,756
II 支 出 の 部			
事 業 費	14,117,128	9,917,128	4,200,000
管 理 費	16,406,652	16,347,393	59,259
特 定 預 金 支 出	648	648	0
繰 入 金 支 出	0	0	
当 期 支 出 合 計 (C)	30,524,428	26,265,169	4,259,259
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)	1,537,968	453,985	1,083,983
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B) - (C)	19,902,787	8,004,290	11,898,497

学 会 報 告

第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会

内科学 I 花房俊昭（特別会員）

2014 年 5 月 22 日（木）～ 24 日（土）の 3 日間、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル、他において、第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会を開催致しました。今回のメインテーマは『糖尿病とともに生きる ～夢から実践へ～』としました。生涯、糖尿病を持って生きる人達に対し、明日の糖尿病学を拓き将来の「夢」を追う研究と、目の前の患者一人ひとりの心に寄り添う「実践」を車の両輪にしたいという想いを込めてテーマを設定致しました。お陰様で、3 日間で 14,400 余名



のご参加をいただき、どの会場もほぼ満席で、立ち見をされていた参加者も多く、大盛況でした。

特別講演では、Joslin Diabetes Center の Susan Bonner-Weir 先生に、膵β細胞の再生という「夢」を語っていただき、奈良県立医科大学の石井 均先生には、糖尿病医療学という「実践」について



changing
diabetes®

第57回
日本糖尿病学会年次学術集会
The 57th Annual Meeting of the Japan Diabetes Society

changing diabetes®
Morning RUN & WALK
in OSAKA CASTLE

novo nordisk®



お話しいたしました。また、大阪出身の世界的建築家である安藤忠雄さんには、「人生 100 年 考えて生きる」と題し、我々の今後進むべき道筋について、ユーモアを交えた笑いの絶えないご講演をいただきました。

会長特別企画では、若い糖尿病学研究者に大きな「夢」を持ってほしいという気持ちで「糖尿病研究は面白いー最先端糖尿病研究テクノロジーへのいざない」というセッションを設ける一方、究極の「実践」として、「1 型糖尿病とともに生きるー医師として、患者として」というセッションを設け、1 型糖尿病を持ちながら糖尿病専門医として活躍されている先生方から、医師と患者と両方の立場を経験し、理解できるからこそ語れる、我々医療者に向けたお話をおうかがいしました。幸い、両セッションとも満員の盛況で、参加された方々から「感銘を受けた」「感動的であった」等の高い評価をいただきました。

シンポジウムでは、現在の糖尿病学および糖尿病診療において重要な 27 のテーマで、大いに「夢」と「実践」を語っていただきました。シンポジウムのタイトルとして、「食いだおれなための臓器間ネットワーク」など、すべてのシンポジウムに主催者としてユニークなタイトルを設定させていただき、好評をいただきました。また、6 つのテーマで繰り広げられたコントラバーシーのセッションでは、2,000 人以上を収容できる大ホールが狭く見えるほど多くの方にご参加いただき、白熱した議論が戦わされました。また、教育講演では、糖尿病のすべてを網羅する 34 のト

ピックスを取り上げたところ、単位更新者用の会場のみならず、一般参加者のために用意した中継会場も満席の盛況で、参加者の自己研鑽にかける熱意を感じました。また、一般演題として 2,755 題の発表をいただき、ワインとおつまみを用意したポスター会場では、夕方のリラックスした雰囲気の中で、face-to-face で熱気あふれる討論が繰り広げられました。

大阪城を会場とした Morning RUN & WALK では、約 370 名の方に参加していただき、学会ポスターにある「花ざかりの大樹とそれに集う多くの人々」をデザインしたお揃いの T シャツを身につけ、早朝の爽やかな空気の中、大阪城を駆け抜けていただきました。

最終日に開催した市民公開講座では、1 型糖尿病を持ちながら活躍しておられる作家、競技エアロビック選手のトーク・実演に加え、健康を維持するための食事について料理家の方に具体的なお話しをいただき、市民の方々に糖尿病に対する理解を深めていただきました。

学術集会の開催にあたりとくに心がけたことは、メインテーマに込めた「基礎研究から臨床実践へ」というコンセプトを縦糸とし、「手づくりのおもてなし」「女性力」「大阪」を横糸として全体を構成することでした。一般演題の座長は、多くの女性医師、女性研究者の方々にお願いしました。教室の女性医師を中心に、スタッフ全員が参加して企画・制作した「コンgresバッグ」「学会記念グッズ」もご好評をいただきました。さらに、教室員が厳選した大阪らしいお弁当の中から参加者のお好みで選んでいただけるようにしたモーニング・ランチョン・イブニングセミナー、大阪の味を堪能していただきたいと、たこ焼き、串カツ、お好み焼きを販売した「大阪くいだおれ企画」、またそれを紹介した手づくりの「くいだおれマップ」等、参加者の皆様にお楽しみいただき、「随所におもてなしの気持ちがあふれた学会だった」との評価をいただきました。

今回の年次学術集会が成功裡に終了できましたのも、仁泉会会員の諸先生方をはじめ、学内外の関係者の方々のサポートのお陰であり、皆様に心より感謝申し上げ、学会開催報告とさせていただきます。

学 窓

西医体壮行会報告

6 月 20 日、母校の地下食堂で毎年恒例の西医体壮行会が開催されました。

医学部学生生活支援センター長の佐浦隆一教授が精一杯怪我なくがんばって欲しいという激励の挨拶から会がはじまり、西医体理事の鳴海善文教授の挨拶、硬式テニス部部長の玉井浩教授の乾杯のご発声とともに壮行会がスタートしました。各部主将の大会への熱い意気込みの発表の後、仁泉会理事の上杉康夫先生から学友会会長の小川将司君に支援金の贈呈が行われました。

成績結果についてはおってご報告致します。

事務局編集係

クラス会開催にあたって

クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局

T E L : 072 - 682 - 6166

F A X : 072 - 682 - 6636

E-mail : jimmu@jinsenkai.net



支部だより

報告 京都仁泉会学術講演会 平成 26 年 2 月 8 日 於：京都ホテル オークラ

先日、2 月 8 日、京都ホテルオークラにて京都仁泉会学術講演会が開かれました。

水谷 均会長の開会の辞のあと、田代 博先生の司会で始まりました。今回は今村喜久子先生に座長をお願いし、高松内科クリニック院長 高松順太先生の御講演を賜りました。

今回は高松先生のご講演内容をミニレクチャーとしてまとめさせていただきました。

「甲状腺疾患の診断と治療 最近のトピックス」

I 東日本大震災、福島第 I 原発事故 (2011. 3. 11)

小児甲状腺癌の一般的頻度は 100 万人に 1 人だが、チェルノブイリ事故では手術例は 5000 例。ただし、ポーランドでは小児に無機ヨード剤を配布したためか甲状腺癌の発症はなかった。

福島第 1 原発事故の後、①迅速に正確に放射線

被爆の地域、量の予想を住民に知らせる (Speedi を利用) (迅速な対応ができたかどうか?) ②汚染された食物の摂取を避ける③無機ヨード (安定ヨウ素剤) の服用を行った。③に関して、どのレベルの被爆から安定ヨウ素剤を予防服用するのかは WHO のガイドライン等にあるが、本邦では安定ヨウ素剤予防服用に係わる防護対策の指標として、性別、年齢に関係なく全ての対象者に対し一律に、放射性ヨウ素による小児甲状腺等価線量の予測線量 100mSV を基準としている。本邦はヨード過剰地域であり、それゆえに放射性ヨウ素は甲状腺に取り込まれにくい可能性がある。個人のできる対策として、昆布 (乾燥昆布 10g、10cm×10cm くらい) を水 1L に入れて昆布だしをとると、100ml 中無機ヨードが 8.4mg となるため、100 から 200ml くらい毎日飲めば RAIU 5% 以下にヨードブロック可能である。橋本病でなければ 2 週間くらい服用しても問題はない

II 甲状腺機能低下症

甲状腺機能低下症の診断として、血中フリー T4 が低値、血中 TSH 値が上昇している場合は甲状腺が原因であり、TSH 値が低値であれば下垂体が原因と考えるがこの頻度は少ない。この際、血中 T3 値やフリー T3 値は参考程度である。血中コレステロール値および CPK 値も参考になる。



Ⅲ T3 優位型バセドウ病 (T3 - Predominant Graves' Disease)

T3 優位型バセドウ病は、バセドウ病の一亜型 (約 10%) で、抗甲状腺剤で治療してゆくと、血中フリー T4 値は正常域まで下がるが、血中フリー T3 値は完全には下がらず高値が続く。特徴として、①血中 TSH レセプター抗体価が高い。② TPO 抗体価が高い。③ Tg 抗体価は通常と変わらない。④ Tg (サイログロブリン) 濃度が高い。⑤病理組織所見では、濾胞上皮の増高が顕著で、濾胞内にコロイド小空泡が多い。⑥ 123I ヨード摂取率は 3 時間後値の方が 24 時間後値より高い。⑦ TPO のカップリング反応は、T4 産生は同じだが T3 産生がより高まっている。⑧ 組織中脱ヨード酵素活性 (D2) が高い。⑨血中 TRAb 値と TSAb 値の相関係数がより高い。⑩キメラ TSH レセプターでの TSAb 活性の減少度が著しい。⑪血中ガストリン濃度が高く血中ペプシノーゲン I 濃度が高い。といった特徴を有し、治療は、抗甲状腺剤治療で寛解しにくく、抗甲状腺剤と T4 の併用療法にて血中 T3 値は正常化する。また、甲状腺亜全摘術後血中 T3 値は正常化し、131I 内用療法後、甲状腺機能低下症へ移行する頻度が少ない。

Ⅳ Euthyroid Sick 症候群

慢性疾患 (腎不全や肝硬変など) や熱性疾患 (扁桃炎や腎盂炎など) で血中 T3 値が低下する状態で、重症疾患 (末期癌など) では、血中 T3 だけでなく血中 T4 値も低下する。この際は甲状腺ホルモン補充はしないほうが良い。

原発事故から、甲状腺疾患の診断・トピックスにいたるまで、非常にわかりやすくご講演頂きました。ありがとうございました。

場所をかえての懇親会では、水谷会長のご挨拶で、太田先生の乾杯の発声で会はスタート。内田先生の仁泉会報告と各先生方のお話で盛り上がり曾我部先生の閉めの御挨拶でお開きとなりました。今回初参加の先生も 2 名おられ (上田英一郎先生、山内宏哲先生)、これからますます参加される先生が増えるよう期待しております。

出席者名 (22 名・敬称略): 内田 實 (学 12)

太田 稔 (学 12) 勘田紘一 (学 15) 今村喜久子 (学 17) 奥村正治 (学 20) 藤田きみゑ (学 20) 富岡 暉 (学 22) 舟木 亮 (学 22) 田代 博 (学 23) 西本 孝 (学 23) 森本博子 (学 24) 浅野明美 (学 25) 石原 正 (学 25) 水谷 均 (学 26) 曾我部俊大 (学 27) 蘆田 潔 (学 28) 蘆田ひろみ (学 28) 萩原暢子 (学 28) 上田英一郎 (学 40) 山内宏哲 (学 42) 村上純一 (学 54)

講師: 高松順太 (学 21)

文責 寺村和久 (学 37)

平成 26 年度 仁泉会高槻支部総会報告

平成 26 年 6 月 14 日 (土)、たかつき京都ホテルで平成 26 年度仁泉会高槻支部総会が開催されました。梅雨の合間の晴れ日でしたが、御来賓 6 名、会員 28 名の計 34 名の先生に出席していただきました。

総会では、保田浩先生が司会を行い、議題に先立ち前年度物故会員となられた深井進先生、藤田宏衛先生、木村篤文先生、小寫祥介先生、村上洋司先生に対し、黙祷を行いました。最初に支部長の櫛原茂之先生より挨拶及び会務報告、そして仁泉会副理事長安藤嗣彦先生よりご挨拶と仁泉会の現状のご報告をいただきました。その後、幹事の三田村有二先生より平成 25 年度収支決算の報告があり了承されました。また、今年は役員改選の年であり会計幹事を 10 年務められた三田村有二先生が勇退され、その他幹事は留任、新任として稲毛昭彦先生が入られました。

恒例の学術講演会では、座長を合田が務め、救急医学教室教授高須朗先生より「大阪医大救急医療部再生への道 (この 1 年を振り返って)」のタイトルで大学の救急診療、教育、研究につき現状と問題点、将来への展望をご講演いただきました。フロアーより現状の問題点や母校に対する要望があり、救急部への期待の大きさが表わされました。

陵本清剛先生の司会で、懇親会が開かれ、最初に大阪医科大学病院長黒岩敏彦先生より大学の近況と医療を取り巻く状況についての報告がありました。その後高槻市医師会長飯田稔先生よりのお言葉をいただき、丸山優子先生による乾杯のご発

声で開宴となりました。御来賓の教授の先生方より近況報告やご挨拶をいただきました。また、北川秀雄先生に傘寿のお祝いを、川部由巳先生、原卓司先生に喜寿のお祝いを、長谷川博之先生、吉田政雄先生に古希のお祝いをさせていただきました。今回の総会にご来賓、先輩方とともに、我々若手も参加させていただき、和気あいあいとした有意義で楽しい時間を過ごさせていただきました。今年にご出席いただけた先生方がやや少なめでしたので、来年度は多数の先生方の出席をお待ちしております。



御講演いただきました高須 朗救急医学教授

出席者（敬称略）

（御来賓）大槻勝紀（解剖学教授）、米田 博（神経精神医学教授）、黒岩敏彦（脳神経外科学教授）、浮村 聡（総合診療科教授）、高須 朗（救急医学教授）、安藤嗣彦（仁泉会副理事長）

（支部会員）入野敏夫（学 9 期）、市岡五道（学 10 期）、丸山優子（学 12 期）、横山 永（学 13 期）、佐々木 学（学 16 期）、小野秀太（学 17 期）、飯田 稔、井上隆夫、吉田政雄（学 18 期）、石河清彦（学 20 期）、大津彌平、後藤研三、坂中

勝（学 21 期）、櫛原茂之（学 22 期）、西本 孝（学 23 期）、宇野 功（学 25 期）、北川 眞（学 27 期）、三田村有二（学 30 期）、稲毛昭彦、保田浩（学 31 期）、高島哲哉（学 32 期）、井上裕之（学 33 期）、陵本清剛（学 36 期）、本郷仁志（学 38 期）、中小路隆裕（学 40 期）、合田公志（学 42 期）、愛宕利英（学 43 期）、松本浩明（学 48 期）

（文責 学 42 期 合田公志）



1 列目（左から）小野、米田教授、大槻教授、浮村教授、飯田、櫛原、黒岩教授、高須教授、丸山、市岡
2 列目（左から）松本、井上（隆）、西本、吉田、佐々木、坂中、石河、後藤、入野、北川、保田、中小路
3 列目（左から）高島、合田、本郷、愛宕、三田村、大津、陵本、横山、稲毛、天野（仁泉会事務）、井上（裕）（敬称略）

吹田支部総会報告

梅雨の合間で暑い日となった平成 26 年 7 月 12 日（土）、ホテル阪急エキスポパークにおいて、吹田支部総会を開催いたしました。ここ数年では一番多い 19 名の参加がありました。占部支部長は開会挨拶の中で、年に一度の会であり、楽しんで過ごしてほしいと述べられました。その後、会計報告を西野先生、庶務報告を御前が行いました。仁泉会関係では、関東地区懇談会が開催されたこと。大阪府支部連合会学術講演会が 11 月 8 日開催されること。大学関係では、今後順次病院建て替えが進められることや本年の国家試験合格率が振るわなかったことなどを報告いたしました。今年度は支部役員改選時になっていましたが、支部長・占部健先生、副支部長・丸川治先生、御前治、会計・西野淳司先生、監事・小谷泰先生、小倉信幸先生と全員留任で決定いたしました。

今回は、母校一般消化器外科教授で、同窓でもある内山和久先生（学 32 期）をお招きして、「肝臓手術の新たな展開」のご講演を拝聴いたしました。最新の画像技術をもちいて、術前はもちろん術中にも患部を立体的にとらえて、手術に生かす



取り組みをされていること。ある種の物質（物質名は難しく覚えきれなかったので）を用いると、癌部分だけ色が変わったり、発光したりする現象を利用し、切除範囲決定や残存予防を図っていることを紹介されました。また、先生が以前より取り組んでおられる単孔式腹腔鏡のポート改良についても紹介していただきました。実際の術中動画も数多く供覧していただき、参加者一同納得しっぱなしのご講演でした。今回は久しぶりに出席し



前列左より、小倉、小谷、藤田、内山、田橋、清水、岩橋、占部
中列左より、西野、丸川（治）、福本、井上、丸川（恭）
後列左より、大木、御前、松田、網岡、原、黒川、杉本

てくださった外科の先生もおられ、内山先生効果だったのかもしれない。

講演後の懇親会は、この春まで大阪府医師会代議員会議長をお務めでした小谷泰先生の乾杯で始まりました。講師の内山先生にもご出席いただき、また支部会員の丸川治先生夫人、恭子先生にも内山先生の同期として特に参加をお願いいたしました。少しお酒も入ったあと、各自にスピーチをお願いしました。引退後の心境や、趣味のお話し。自身の病気のことや診療所盗難事件。本日の講演に関する感想。医業経営の話題などなど、それぞれに話していただきました。楽しい時間が過ぎるのはあっという間で、最後に恒例の学歌斉唱で締めくり総会を終了しました。

開催時期や場所等へのご意見もあり、来年は少し内容に変更があるかもしれませんが、同窓が集まる貴重な機会です。吹田にゆかりのある先生方、ぜひご参加ください。

当日の参加者は以下の通りです（敬称略）

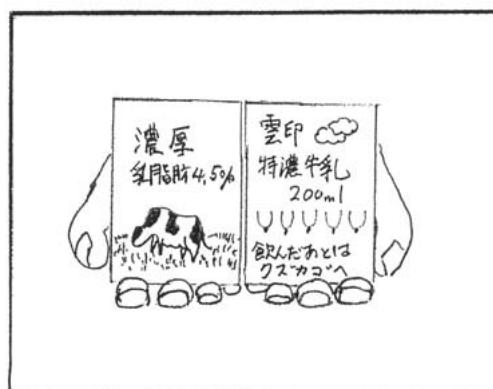
田橋賢士（学 8 期）	藤田義昭（学 8 期）
小谷 泰（学 14 期）	小倉信幸（学 16 期）
清水 公（学 17 期）	岩橋邦彦（学 19 期）
黒川彰夫（学 20 期）	松田敏宣（学 25 期）
原 章倫（学 28 期）	網岡勝見（学 30 期）
占部 健（学 31 期）	内山和久（学 32 期）
丸川 治（学 32 期）	丸川恭子（学 32 期）
井上澄江（学 33 期）	御前 治（学 33 期）
杉本憲治（学 35 期）	福本敦子（学 35 期）
大木孝一（学 38 期）	西野淳司（学 40 期）

（報告 御前 治 学 33 期）



濃 厚

ぼん太（学 31 期）



平成 26 年度仁泉会神戸支部総会報告

神戸支部総会を 6 月 21 日 午後 5 時 30 分より神戸ポートピアホテルにて開催しました。

今年は河野公一仁泉会理事長をご来賓に、元本学キャリア形成支援センター長、胸部外科准教授の近藤敬一郎先生を講演会講師にお招きしました。

中本博士庶務の司会で先ず昨年亡くなられた高山哲郎先生（学 8）、公文 康先生（学 9）、辻井寧繁先生（学 18）に黙祷を捧げました。次に安藤嗣彦会長の挨拶があり、平成 29 年に予定されている本学創立 90 周年記念事業の件を話されました。また久しく開かれていない兵庫県支部総会の再開にむけて今秋に兵庫県支部長会を開くことを報告されました。

続きまして古希のお祝いを安藤先生自らお受けになりました。なお神戸支部で行っている古希・喜寿のお祝いをそろそろ長寿社会に沿って、喜寿・米寿のお祝いに変更する時期が来ていると思われまます。来年の総会での議題にあげてもよいと考えております。引き続いて植坂俊郎先生（学 27 期・東灘区）と光宮義博先生（学 50 期・中央区）にご開院祝いを贈呈し、両先生から開院の経

緯、セールスポイントなどが披露されました。その後増井による活動報告があり、渡辺信治先生を議長に選出し議事に移りました。米田豊先生の会計報告、日下孝明先生の監事報告、安藤先生の事業報告すべて承認され総会は無事終了しました。コーヒブレイクをはさんで近藤先生の講演を拝聴しました。当初の演題は「医療技術の発展と診断・治療成績向上をめざして」でありました。処、「医学教育の現場とシミュレーション教育の重要性」に変更され出席者は少々面喰いしましたが、先生の昨今最も精力を注いでこられた学生教育の実情などを詳しく解説されました。特に本学が PBL（problem-based learning）－問題基盤型学習を採用したカリキュラムの功罪につき丁寧に説明していただきました。旧内視鏡室に設けられたメディカルトレーニングサポートセンターでは昼夜を問わず自己研鑽できるシステムがあり学外者にも開放していること、また外科道場なる一種のマイスター制度を作り外科希望者の適正度予知や掘り起しに役立っていることなど講演内容が非常に濃く、興味深いものであったため予定時間の超過も忘れ、皆聞き入ってしまいました。講演会終了後、場所を向いの間に移動し懇親会となりました。渡邊 聰先生の乾杯のご発声に続きまして、



河野仁泉会会長のご挨拶をいただきました。この度東京、四国での仁泉会活動の活性化のことを詳しくお話していただきました。その後は談笑の場に様変わりして、2 次会の同ホテルのスカイラウンジ、3 次会の三宮東門界限へと続いたのでありました。

[主席者]

ご来賓 河野公一 (学 21)

会 員	渡邊 聰 (高 19)	渡辺信治 (学 9)
	藤原弘久 (学 13)	福永 晶 (学 14)
	日下孝明 (学 16)	佐々木義信 (学 16)
	藤田 保 (学 18)	横山光昭 (学 19)
	安藤嗣彦 (学 20)	西田靖彦 (学 22)
	森 義孝 (学 22)	近藤敬一郎 (学 23)
	寺師克洋 (学 23)	飯塚信行 (学 24)
	前田雅道 (学 25)	植坂俊郎 (学 27)
	木村 弘 (学 27)	橋本 寛 (学 27)
	小高正裕 (学 28)	浪方典宏 (学 29)
	増井裕嗣 (学 29)	森松伸一 (学 29)
	米田 豊 (学 30)	岡本恭行 (学 32)
	久保寛倫 (学 32)	中本博士 (学 39)
	藤田能久 (学 47)	光宮義博 (学 50)

敬称略、29 名

仁泉会神戸支部ゴルフコンペ報告

神戸支部総会の翌日、6 月 22 日 (日) に神戸支部ゴルフコンペを開催しました。例年 11 月に開催しておりますが、参加者が少ないため今年は総会の翌日にして増員を期待しました。ところが、意に反してほぼ例年通りの人数 8 名の参加でした。近々に女子プロの下部ツアー競技が予定されていて、ラフに入ればロストボール覚悟の厳しい条件でしたが、さすがに三木ゴルフ倶楽部のハンデ 1 の腕前の中本博士先生がグロス 74、ネット 70.4 で優勝されました。

2 位に初参加の竹内陽史郎先生 (学 33) (グロス 83、ネット 71)、3 位は梶山瑞夫先生 (学 15) (グロス 87、ネット 73.8) でした。4 位以下の参加者はネット順に森 義孝、日下孝明、福永 晶、増井裕嗣、安藤嗣彦の先生方でした。(今回安藤会長が持ち回り用に優勝カップを寄贈して下さいました。)

文責 増井裕嗣 (学 29)



クラス会だより

寿久会（高医 19 期）便り 吉野・飛鳥を訪ねて

入梅後はじめての週末、目的地は多雨で知られる吉野山。先行きを案じながら小雨そぼ降る新大阪を出発しました。

案に相違して山道に差しかかるに従い雨も止み空は明るくなってきました。

吉野と言えば春は千本桜、夏は深緑、秋は桜紅葉など、杉・檜の美林を背景にした桜の国の桜の名所。

吉野山名所案内によれば、今から 1300 年前、役小角が千日の難行苦行の後、末代相応の仏の出現を祈祷したところ、はじめに釈迦、ついで千手観音また弥勒観音が現れ、遂に蔵王権現が現れました。役行者はこれこそ修験道の本尊であると、その像を桜の木に刻み蔵王堂に安置し修験道の守本尊としたので桜の木は神木となりました。土地の人々は「桜は蔵王権現の神木であるから切ってはならぬ」と論じ、山野に自生しているものでも、およそ桜と名のつくものは枯れ枝や枯れ葉でも焚き火にできなかったそうです。

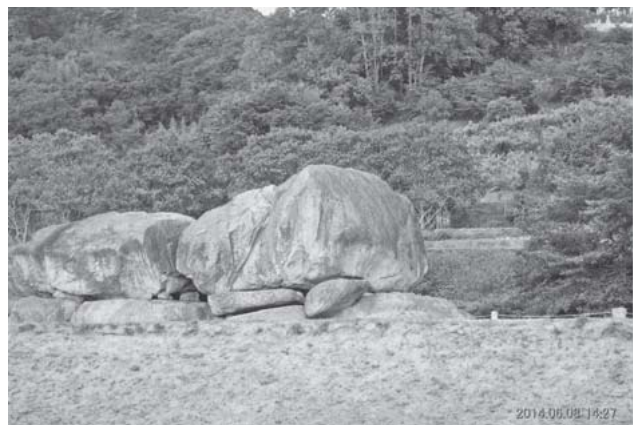
やがて各地から蔵王堂に参詣する信者達の献木によって年々桜が増殖されました。

桜寄進の最も大規模なものは天正 7 年（1579 年）大阪平野の豪商末吉勘兵衛が一万本の苗木を寄進、下千本の桜、関屋の桜はこの桜と言われている。

吉野山の桜で最も多いのは「白山桜」という品種で花と葉が同時に開き、花の形も色々です。

下千本七曲坂の幣掛神社の社前に咲く「御車返し」という品種の桜は、一本の木に八重と一重の花が混じって咲き花卉に「ひだ」ができ淡紅色大輪で赤みがあって丸く美しいうえに大きな木になってたくさんの花がつく珍しい品種であり、江戸時代に後水尾天皇が余りの珍しさにわざわざ引き返してご覧になったことから「御車返し」の名がついたと言われている。

しかし、同種の桜は京都市右京区京北井戸町の



常照皇寺にもあります。その昔、殿上人たちが花見の帰り、あの花は一重であった、八重であったと口論になり牛車を引き返し確認したところ両方あったというエピソードがありますが、同寺は「皇統譜かかげて花の勅願寺」の句碑もあり「北朝初代天皇光厳院」の開山によるもので光厳院は境内の「山城山国陵」に祀られています。

何か不思議な因縁を感じるものです。

昭和の初期に育った我々には大峯山を開いた役小角、また世を逃れて山に入った後、壬申の乱の立役者となる大海人皇子（のちの天武天皇）や源義経と静御前更に建武の中興にまつわる物語にも興味がありました。

雨の気配もなく青空がのぞくのを幸いに、元弘年間大塔宮護良親王にとり吉野城、詰城として大事であった高城山公園に登り、北は高取山、西北に金剛山、二上山等金剛山脈を一望しようとマイクロバスは奥千本に向けつづら折りの山道を分け入りましたが、金峯神社付近で崖崩れによる通行止め。未練を残しながら宿に向かいました。

当日宿泊した吉野温泉湯元「宝の家」自慢の露

天風呂「阿吽の湯」からは、宿のある中千本はもちろんのこと、さらに奥に入った上千本まで一望できました。

漠然と山間に咲誇る桜に話題が偏りがちな吉野で、役小角の修験道や建武の中興に思いを馳せる企画をしてくれた山鳥君に感謝しながら、夕食の話題は来年以降どうするかということでした。

六十五年前、最年少での卒業を誇った紅顔の美少年たちも来年にはすべて米寿を迎えることになりました。寄る年波に焼津の淵脇君、浜松の木俣君、広島横山君や日南の早川君など遠隔地の方は参加できず近郊のもののみとなりました。そこで場合によっては集まって食事だけでもとしながらも、とにかく毎年集まれるだけ顔を合わせようということになりました。

一夜明けた 8 日の朝「西日本の山間部は雨」の天気予報は嘘の様、晴れ渡った青空をバックに朝日に照り映える蔵王堂や新緑に埋もれる如意輪寺を目の当たりにしながら下山しました。

帰途立ち寄った飛鳥路では、熱中症対策に留意しながら、静かに時の止まったような長閑な高松塚古墳周辺の国立飛鳥歴史公園を散策し、飛鳥寺

ではあどけない聖徳太子孝養像とご対面、石舞台では蘇我氏の威光を感じながら（実は小生、中学一年生の時にあの石舞台のてっぺんまで登ったことがあります）帰途につきました。

最後に、（けいてつ協会編の知られざる鉄道）によれば現存する我が国最古のロープウェイ（昭和 4 年営業開始）である吉野大峯ケーブル自動車は近鉄吉野線の終点吉野駅前の千本口駅から山上駅の間を運行していますが、普通のロープウェイの様にロープの片側からぶら下がるのではなく、二本のロープの内側からぶら下がる方式で、ゴンドラの床が水平でなく、ケーブルカーのような珍しい斜めの車体になっています。

90 年にもなろうかという歴史を有し、リベットが打ちつけてある支柱や各施設は貴重な産業考古遺産の一つと数えられているそうです。

（参加者）単身者 垂水圭一 山鳥健一
夫婦同伴 中馬勇 渡邊聡 横田友二

文責 横田友二（高医 19 期）



44 クラス会の報告（学 18 期）

平成 26 年 6 月 28 日（土）ホテルグランヴィア 京都 3 階「今昔の間」にて 2 年ぶりのクラス会を開催しました。20 名の級友とその夫人 4 名の計 24 名での集まりとなりました。実行委員長竹内宏一君の歓迎挨拶、今は亡き友 13 名への黙祷を捧げ、遙々秋田県大館から参加してくれた武内純夫君の乾杯の発声で宴が開かれました。

今回は卒業式の記念写真を拡大して出席者に配付、45 年前の往時を偲び話に花を咲かせまし

た。さらに出席者全員にショートスピーチをお願いし近況をはじめ様々な話題を話してもらい大いに楽しむことができあつという間の 2 時間半でした。古希を過ぎた年齢相応の顔もあれば若々しい友もあり様々でしたがやはり確実に時間は過ぎ去っている想いをつよくしたひと時でした。次回来年、山城國暉君、武井美保子さんのお世話で神戸で開催することを決め、閉会の挨拶を広田勝彦君にお願いしお開きとなりました。いいクラス会でした！

報告 宮地道弘（学 18 期）



大阪医大 44 クラス会 於 HOTEL GRANVIA KYOTO 2014年6月28日

前列左から

伊藤正尚、光井英昭、弓狩和世、嘉村智美、廣田勝彦、宮地道弘、武井公雄、武井美保子、宮地一美、榎原千津子、堀永三枝子、後列左から

村尾道蔵、井上隆夫、大西真尚、大見秀之、竹内 聡、弓狩華吉、榎原昂之、榎 透、武内純夫、山城國暉、堀永孚郎、吉田 明、竹内宏一

ご投稿のお願い

多くの会員皆様からの投稿をお待ちしております。

記

☆送付先

〒 569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号 大阪医科大学仁泉会 事務局

TEL 072-682-6166 FAX 072-682-6636 e-mail : jimuj@jinsenkai.net

※原稿は郵送・FAX・e-mail でご送付くださいますようお願いいたします。

事務局 編集係

仁泉ひろば

どうでもエエ話 (3)

学 4 期 西村 保

ブロイラーと地鶏

ブロイラーとは生後 7、8 週という短期間で出荷できるように改良された食肉専用の鶏で、出荷までに必要な飼料は体重の約 2 倍である。これは牛の約 8 倍、豚の 3.5 倍に比べると、その生産性の高さが際立っている。19 世紀の初め頃から主としてアメリカ東部の諸州で産業として成立した。そして第二次大戦中にアメリカでは軍用食料として大量に買い付けたのでブロイラー産業は大いに進展した。

これに反して日本では胸肉の豊かな白色コーニッシュの雄と、体格の良い白色プリマスロックの雌との交配種が主流になっている。しかし同じ鶏でも地鶏と称するには農林規格で定められた生産方法に従う必要がある。それは生後 28 日以後は平飼い（地面の上で飼うこと）で飼育家屋も 1 平方メートルあたり 10 羽以下と決められている。つまり、地面を駆け回った伸び伸びと育てられた鶏だけが地鶏と称することができるのである。中でも秋田の比内鶏、愛知の名古屋コーチン、鹿児島のだつま若しゃもが有名である。

私の旧制中学時代の同級生 T 君は中学校卒業後、大阪外語のロシア語科に進学した。大阪外語の校舎は戦災で全焼していたので昭和 20 年代前半頃は高槻工兵連隊跡の兵舎を間借りしていた。それで登校時に阪急高槻市駅でたまたま出会った時には立ち話したり、時には授業をエスケープして一緒に遊びに行ったこともあった。T 君は外語卒業後はロシア語のできる共産党員として、その方面で大いに活躍していた。それが、どのような経緯があったのか知らないが、ソ連崩壊前頃に共産党を脱党したと聞いた。彼はそれについては一切語らなかった。その後、旧制中学の同窓会で久しぶりに会ったので「今、なんの仕事をしているんや」と尋ねると彼は「養鶏業、と云うより鶏のり

フレッシュ業をやっている」と答えた。つまり「食肉として売られる寸前のブロイラーを買い付けて狭い小屋の中に閉じ込め、水だけしか与えないでよくと 3、4 週間ほどで文字通り骨と皮ばかりになる。それを今度は、太陽の当たる広場で自由に遊ばせて天然の餌を与えてやると、見違えるほど引き締まった筋肉が付いてくる。これを地鶏と称して焼き鳥業者が高く買ってくれるんだ」とのことであった。

「なんだかメタボ人間に応用できそうな話やな」と二人で大笑いした。

この T 君も既に亡い。

確かに素材そのもので食べるとり鍋や焼き鳥では地鶏のほうがジューシーで噛みごたえがあっておいしいが、ブロイラーも戦後アメリカから進出してきた外食産業の業者によって考案された色々なスパイスを利用して適当に味付けされたものは、それなりにおいしいものである。今の子供たちは鶏といえばブロイラーしか知らないのではないかなと思われる。

まあ、おいしければどうでもええ話ですがね。

元軽音楽部員の皆様へ — OB 会発足のお知らせ —

学 21 期 高松順太

盛夏の候、先生方にはお元気でお過ごしのことと思います。

この度のご連絡は、ご自宅への郵便のみですと住所変更で届かない恐れがありますので、仁泉会ニュースにも掲載いたします。

大阪医科大学軽音楽部は長い歴史を持ち活動してきましたが、昨年現役の柱として活躍してくれていた部員が不慮の事故でかけがえのない命を落とすという悲しいでき事がありました。しかし卒業 OB 先生方の力強い励ましもあり、ショックを受けた学生達もその後立ち直ることができ部活動も再開され現在に至っています。

ご存じのように創部は 54 年前にさかのぼります。その当時の流行はエルヴィス・プレスリー、ポール・アンカ、ブレイク前のリバプール時代の

ビートルズなどでしょうか。創部メンバーはジャズとハワイアンミュージックを主体とし、高いレベルの音楽でした。数年後、新入学生が先輩の演奏に心をときめかせて次々と入部し、カントリー&ウェスタン、ロック、フォーク、ボサノヴァなどさまざまなジャンルに広がりました。クラブはその後も活動が途絶えることなく優秀な部員が続々と入部し、大阪医科大学軽音楽部の評価を高めました。最近では大学が部活動を奨励していることや花房俊昭部長（第一内科教授）の暖かいご支援もあり、新入部員が毎年 10 名以上に及ぶ活気あるカルチャークラブとなっています。

卒業生 OB の活動としては恒例の軽音楽部創立記念演奏会があります。しかし 10 年毎であり頻繁な活動ではなく、現役学生主催の卒業生追いコン、新入生歓迎コンパ、サマーライブ兼幹部交代式、クリスマスライブにも OB が参加していますがささやかな人数です。元部員が追いコンや演奏会に出席してもメンバーが揃わなければ十分演奏できないこともあります。軽音楽部の特徴として同じジャンルの音楽が好きなメンバーが集まりバンドの形態で演奏するため、世代を越えた OB 間の縦のつながりが十分出来ているとは言えなかったと思います。

それらの問題点を踏まえ色々な年代の先生方から湧きおこった意見が、OB 会の結成でした。

この会が出来れば卒業生が一同に会することになり、年齢の差を越え音楽ジャンルの垣根を越えた交流が可能となります。さらに会が充実してゆけば現役部員とも交わり、先輩としてそれぞれの時代の素晴らしい音楽を紹介したり楽器演奏テクニックやヴォーカル唱法を指導する機会が増えます。これこそ現役学生が求めているものであり、OB 会の活動が有意義になるものと予想します。

先づは 11 月に第 1 回の懇親会を計画しました。大変忙しくされていると思いますがお時間の許す限り出席して頂き、学生時代の音楽のことやクラブでの苦労話や笑い話さらには同年代のメンバーの近況などをひと言お話下さり、楽しい時間を過ごして頂ければと存じます。またご要望があればと思い、楽器一式も準備しております。ぜひご参集ください。

第一回 OB 懇親会の概要

日時：11 月 2 日（日曜日）午後 4 時から

場所：Music Square 1624 Tenjin

〒 569-1117 高槻市天神町 1-6-24

電話 072-691-1624

もし 9 月 15 日までに出席の葉書やメールが届かなければ、大学輸血室長の河野武弘先生か産婦人科の林 篤史先生にお問合せお願いいたします。

発起人一同

学 11 期	鈴木 哲（耳鼻咽喉科）
学 19 期	渡辺昌裕（循環器内科）
学 21 期	高松順太（内分泌内科）
学 22 期	伊藤 良（整形外科）
学 30 期	天羽 薫（精神神経科）
学 31 期	谷村雅一（消化器外科）
学 31 期	馬場一彰（精神神経科）
学 34 期	星賀正明（母校循環器内科）
学 35 期	塙 力哉（耳鼻咽喉科）
学 41 期	河野武弘（母校輸血室）
学 45 期	石崎英介（眼科）
学 49 期	二村吉継（耳鼻咽喉科）
学 51 期	林 篤史（母校産婦人科）
学 54 期	垣田 謙（母校循環器内科）
学 62 期	西田浩孝（虎の門病院研修医）



座談会「日本人の脳梗塞急性期抗血小板療法を再考する」

2014 年 3 月 25 日、大阪で「日本人の脳梗塞急性期抗血小板療法を再考する」という題目で、脳卒中診療に関わるエキスパート（日本脳卒中学会専門医）による座談会が開催され、その内容が 2014 年 6 月 10 日付で、Cardio Vascular Contemporary に掲載されました。内容ですが、非心原性脳梗塞（アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ脳梗塞）の急性期治療においては、日本は欧米諸国と異なり、静脈投与の抗血栓薬が選択されるケースが多く、その上で経口抗血小板薬が併用されることが多いとされています。しかし、最近では、経口抗血小板薬 2 剤併用療法（DAPT）の有用性を検討した CHANCE 試験（N Engl J Med 2013）の結果も報告され、急性期治療のあり方を再考する時期に來たといえます。日本と欧米との比較、今の日本の現状を、どう考え、今後、どのような治療方法を選択するのが良いのか、このような討議は極めて重要なことといえます。

討議内容

実臨床における、脳梗塞急性期の対応－アテローム血栓性脳梗塞－

実臨床における、脳梗塞急性期の対応－ラクナ脳梗塞－

急性期から慢性期への移行期における抗血小板薬の選択

心原性脳塞栓症に対する抗血栓療法

出席者

座長：長束一行先生（国立循環器病研究センター脳血管内科部長）（中央）

演者：吉村伸一先生（兵庫医科大学脳神経外科教授）（左 2 番目）

論者：秋山義典先生（天理よろづ相談所病院脳神経外科部長）（右 2 番目）

大谷 良先生（国立病院機構京都医療センター神経内科医長）（左側）（著者）

久我純弘先生（英明会大西脳神経外科病院部長）（右側）

平成 26 年 6 月吉日

国立病院機構京都医療センター神経内科医長

学 40 期 大谷 良



会員著書

学部 23 期假野隆司先生の著書『「更年期障害」は存在しない』が平成 26 年 6 月 25 日栄光出版社より出版されました。假野先生のお言葉とともにご紹介させていただきます。

事務局編集係



著 書 「更年期障害」は存在しない
 出版社 栄光出版社
 〒 140-0002
 東京都品川区東品川 1-37-5
 電話 03-3471-1235
 定 価 本体 1600 円 + 税

著者ご挨拶

一般向け第 2 作「更年期障害は存在しない；第一部」を出版しましたので送付致します。本書は前書「新型うつ病」と異なって、産婦人科医としての私の総括の意味があります。最近はオフィスギネの経営が苦しいために内科系疾患を更年期障害として診療する事が多くなっています。しかし、何でもかんでも更年期障害にするとリスクを背負う可能性があります。本来、更年期障害は女性特異的で閉経前後に卵胞ホルモンに逆依存性に

発症・増悪して卵胞ホルモン補充療法で軽快・治療する疾患と定義されています。本書では自律神経失調症、精神疾患（更年期うつ）、骨粗鬆症がそれらの基準に適応するかを論じました。患者向けとしては難解とは思いますが、テレビの医療番組、インターネット、私の会社に寄せられる情報提供からオタクな患者はこの程度の知識があると知っておくべきです。一方で、最近では文科系の医療ライターや医療ジャーナリストによるサプリメントや健康食品に焦点を当てた怪しげで軽薄な医療本が氾濫しています。この状況を放置すれば安易で楽な治療に流れた患者が誤った知識を持って医師の言う事を信じなくなってしまうです。本書出版の目的はそれらに対する反論・警告でもあります。このため、参考文献は原則として学術誌に掲載された原著論文としました。お暇な時に笑読して頂いて御批判を賜れば幸いです。頭痛、高脂血症、認知症、肥満症をテーマにした第二部が約 1 ヶ月後の出版が決まっています。今後とも御指導・御鞭撻を宜しくお願い致します。時節柄御自愛ください。

学 23 期 假野隆司

会員書籍募集

会員諸先生方の著書がございましたら事務局までご連絡ください。（自薦他薦は問いません）

誌面を通して広く会員の皆様にご紹介させていただきます。

事務局編集係



冊子・新聞切り抜き



兵庫県医師会報（2014 年 5 月 No.720）掲載の
小高正裕先生（学 28 期）・鈴木克司（学 31 期）の

兵庫県医師会報 '14.5 No.720

記事および 6 月 29 日付読売新聞掲載の細井 順
先生（学 27 期）の記事をご紹介します。

全国各地の新聞・冊子等に卒業生に関する記事
が掲載されました節には、新聞・冊子等原本（印
刷手続き後お返しします。）ならびに原稿等を事
務局宛にお送りくだされば幸甚に存じます。

散歩道



今年こそ安心して眠れる年で あってほしい

鈴木 克 司

安倍政権 2 年目の平成 26 年はどのような年になるのでしょうか。昨年 6 月 14 日に閣議決定された日本再興戦略によると「日本が本気で変革する姿勢を内外にアピールし、本当に物事を動かしていくためには、スピード感をもって規制・制度改革やインフラの整備を実現してみせる必要がある」との記載があり、実は「スピード感」は内閣府の方針の中にしばしば出てくる表現なのです。ただ現政権の運営手法を見れば昨年の特定秘密保護法案可決に代表されるようにむしろ「拙速感」を感じさせられ、とても安心して眠れない社会に向かっているような気がしてなりません。第一次安倍政権の終わり際を思い起こせば、病弱のイメージがぬぐえない首相は果たしてぐっすり眠ることができておられるのでしょうか。

半世紀前までは日本国民の約 7 割が午後 10 時には就寝していたそうです。筆者も小学生のころ、午後 8 時を過ぎてテレビを見ていたら親から「子どもは早く寝なさい」と言われたものです。とは言っても親が寝る時刻も近づいていたということでしょう。現在そんな人は 2 割くらいに低下しているようで、高度経済成長時代、その後のバブル、さらにバブル崩壊後のデフレ不況時代と労働形態が変化し、帰宅時刻や食事・睡眠に費やせる時間・時間帯がどんどん不自然な方向へ向かっていったことは否めません。

そもそも年を取るに従い睡眠時間は短くなり深度も浅くなります。そこへ睡眠不足のままのライフスタイルを続けていると摂食促進ホルモンのグレリンが増加する反面、抑制ホルモンのレプチンが減少して肥満・血圧上昇が進みます。不適切なライフスタイルが進行させるという意味では高血圧症・糖尿病はまさに「生活習慣病」の表現がぴったりです。そもそも睡眠不足とは自ら選んだライフスタイルを指し、若い世代に当てはめるべき用語です。これに対して不眠症とは睡眠の機会が充分あるにもかかわらず健康の維持に必要な睡眠が量的・質的に低下した状態を言い、中高年以降の「病氣」として完成された姿なのです。すなわち睡眠不足と不眠症は明らかに違う概念なのです。

いわゆる快眠を得るためのコツとして①午後 2 時台に 10～20 分程度昼寝②入浴は就寝 1 時間前までに済ます③就寝 3～4 時間以内のコーヒー類は避ける④夕方軽い運動をする⑤飲酒はほどほどにする⑥日中日光を浴びる機会をもつ⑦朝起床時はカーテンを引いて光を浴びる⑧生活習慣病になっていたらしっかり管理する、ことが提唱されています。それでも不眠症になってしまったら、その背景に①からだのどこかに痛みやかゆみがある②光・騒音が適切に管理できていない③飲酒・薬物が不適切④心理的緊張・ストレスが強い⑤うつ病、という場合があります。自分が単なる睡眠不足ではなく不眠症かもしれないと思われる場合は、まずかかりつけの医師に相談されることをお勧めします。

（エンジョイ・ヘルス NO.330 より抜粋）

《常任理事》

一筆啓上

医師会と無関心

理事●小高 正裕



最近、郡市区医師会の会合でよく出てくる話題は、会員の医師会活動への無関心、および理事を受ける人が少なくなっていることではないでしょうか。医師会活動などしんどいだけで役にたたない。時間を取られて診療に差し障る。医師会なんて昔ほどの力がなく、ほとんど役目を終わっている。あれはよくばり村の村長の集りだ。高い会費や入会金を取って何に使っているのやら。理事など金と暇のできた年寄がやるもの。最初から興味も関心も無く自分は関係ない。医事紛争に巻き込まれたときぐらいしか関係がない。などが医師会活動の無関心につながっているのではないのでしょうか。入会当初は、私もまったく同じ思いでした。

四年前から県の理事になり、医師会の役割を述べる立場になりました。持論になりますが、しばらくお付き合い願います。「医師会活動などしんどいだけで役にたたない」—初めはなれないため、とまどいがありますが、しんどいほどの仕事量はありません。仕事には直接役には立ちません。しかし、いろんな人と知り合いになれてよかったことが多いようです。いわゆる顔が広くなります。「時間を取られて診療に差し障る」—午前診と午後診の間でかなり時間は取られますが、たいしたことはありません。但し、在宅訪問、往診は、かなり工夫が必要になってきます。「医師会なんて昔ほどの力がなく、ほとんど役目を終わっている」—カリスマ指導者が強引に我田引水することは不可能になりました。それどころか、行政等からの攻勢が強くなり、昔を知っている方から見れば落日の思いでしょう。しかし、それだから以前よりまして医師会の力が必要です。ほっとけば、行政等は、好き放題を行い、日本の医療は壊滅です。国民皆保険、株式会社の参入禁止、フリーアクセスで受

診する権利、混合診療の禁止は、一部の官僚、政治家、マスコミ、経済学者は目の敵にしています。彼等に対抗できるのは医師会のみです。「あれはよくばり村の村長の集りだ」—健全な医療は健全な医療経営に宿る。こんな単純な事がわからない人間の言葉とおもいますが。「高い会費や入会金を取って何に使っているのやら」—各医師会とも、きちんとした決算書を公表していますが、大変わかりにくいと思います。大雑把に言えば、支出の大部分は、会館および会務維持費、職員の給与、委員部員の交通費です。これだけで収支トントンか、やや赤字です。各医師会とも、行政からの委託費などが頼りです。「理事など金と暇のできた年寄がやるもの」—医師会の仕事は年々増加しており、またややこしくなっています。新しく勉強しなければいけない事も多く年寄にはしんどいです。年寄の名誉職でやれる時代ではありません。「最初から興味も関心も無く自分は関係ない。医事紛争に巻き込まれたときぐらいしか関係がない」—医事紛争だけでなく、学校医。予防接種。特定検診。保健所での検診。介護業者との交渉。保険診療、改定、審査、指導。病診連携。医師国保。産業医。会員福祉。数え上げればキリがありません。特に特筆すべきは、事業税の非課税です。課税されれば年に、平均的診療所で約100万円です。非課税の正当性を医師会がきちんと説明しているからこの制度が維持されているのです。

長々と書いてきましたが、週報をお読みいただき、医師会活動の御理解をお願いいたします。最後になりますが、みなさん一期でも理事になりませんか。

生きる
語る

白衣を脱いでから10年になる。5月半ば、医師の細井順さん(62)は、ワイシャツ姿でパイプ椅子を抱えながら病室に向かった。「調子はどう?」。ベッドの脇に椅子を上げ、世間話でもするのと同じ、パジャマ姿の女性に声をかけた。80歳代のこの患者は肺がんが座骨に転移し、激しい痛みと嘔吐に悩まされている。「いつまで生きるんやろうね。もう疲れた」。か弱い声で話す女性の顔をのぞき込み、細井さんは「娘さんを残して心配じゃない?」と語りかける。ひとしきり話を聞いた後、「また来ますわ」と、そっと腕をさすって病室を後にした。琵琶湖に近い滋賀県近江八幡市のヴォーリス記念病院。「希望館」と呼ばれるホスピス^①に入院した患者の滞在期間は、平均1か月に満たない。

2002年から勤務する細井さんが心がけるのは、医師と患者という関わり方ではなく、人間同士のふれ合いだ。そう考えるように

「手術、点滴だけでは、つらさや和らげられない」

白衣脱ぎ患者みとる

なったのは約20年前に遡る。

＊

1995年春、胃がんを患っていた父、武光さんが激しい痛みを訴えた。3年前に手術をしたものの、転移が発覚。手遅れの状態、長くないとみられていた。父は法医学者。外科医の

叔父4人と共に、医療の道に進む上で影響を受けた。外科医だった細井さんは、勤務する淀川キリスト教病院(大阪市)のホスピスへの入院を勧めた。国内で最初にホスピスケアを取り入れた医療機関だ。

初めて間近で見たホスピスに驚かされたのは、患者術の方法を説明するが、手

い。医師の質問に患者が答えるものと思っていたが、ホスピスでは会話の主導権は患者にあった。「これが苦しいに寄り添う本当の医師の姿。自分は病気がかり診て、患者を診ていなかった」

その頃、患者の望みに応えられず、苦しんでいた。78年に外科医となりがん患者に手術をして命の恩人と感じたこともあった。だが、深刻な症状の患者を任せられるようになり、救えない命も増えていった。

ホスピス 治療目的の積極的な医療行為は行わず、痛みの緩和や生活の支援を中心に実施する施設で、末期がん患者が多い。国内第1号の病棟は1981年に誕生。日本ホスピス緩和ケア協会によると、6月1日現在、病棟は全国で308施設(6193床)あり、在宅でも行われている。

父は入院の6日後、69歳で息を引き取ったが、医療のあるべき姿を実感。96年春、ホスピス医に転身した。

＊



①患者のすぐ隣で、目線の高さを合わせて話すよう心がけるホスピス医の細井さん(左)。②守屋由子撮影 ③病床の父に寄り添う細井さん(奥) (1995年4月撮影 細井さん提供)

ホスピスでは採血やレントゲン撮影はしない。満足に食事ができない患者にも点滴を打たない。ひたすら患者の話に耳を傾ける。次第に患者の変化に気づいた。「つらい」と嘆いてばかりいた患者が、自らの昔話を始め、相手にも尋ねるようになる。一人の人間として言葉を交わすうちに

「やるせなさありのままに、ただ受け止める」

「手術や点滴といった治療だけでは、患者の本当のつらさを和らげることができない」と知った。

死期が迫った末期がんの患者は全身のむくみに苦しむことが多い。ホスピス医として5年ほどたった時のことだ。その患者も体のだるさを何度も訴えていた。眠ることすらつらさを和らげる「鎮静」と呼ぶ医療行為のため、点滴を打つか尋ねると、死期を悟ったのか、患者はうなずいてこう言った。「最初に先生に会えてよかった」。翌日、患者は息を引き取った。

「特別に何かをしたわけではない。でも人生を締めくくると言える自分を選んでくれた。ホスピスケアはこれでいいのよ、悩んでいた頃でようやく吹っ切れた」

＊

愛知県初のホスピスの設立に加わった。「ありのままを知ってほしい」と、患

者の最期を追ったドキュメンタリーを知人の映画監督に撮ってもらい、各地で上映会を開く。

そんな末期がん患者を支える立場の細井さんも2004年春、腎臓がんを診断された。腫瘍を取り除いたが、静脈内にがん細胞があり、転移する可能性があった。

10年後の今、再発の兆候はみられない。それでも患者と同じ経験をし、変わったことがある。「患者のために何かしなければ」という焦りが消えた。本当の思いを話してもらえようように、白衣を脱いだのも、がん手術の後だった。

「目の前の患者の気持ち、つらさ、やるせなさをありのままに、ただ受け止める。それが治療行為よりずっと最期の時間を『生かす』ことになると思う」。探していた答えが、見つかった気がしている。(山田正敏)

本部だより

支部活動の活性化を目指して （平成 26 年度仁泉会関東地区懇談会） 報告並びに今後への対応

3 月 8 日に新橋の第一ホテルにて、仁泉会本部主宰による関東地区懇談会を開催致しましたので、この間の経緯につきお知らせするとともに、現在の支部活動の現状とその対策につき報告致します。

東京支部は、東京都を中心に隣県の会員を含めた仁泉会の核をなす大きな支部で、総会員数は 200 名を超え、大阪、兵庫、京都につぐ規模となっています。又、本部の理事会にも 1 名の理事の枠が定款で定められています。数年前までは支部総会も行われ、理事会への理事の出席もいただきました。しかし、ここ、数年間は支部の事情もあるようですが、理事会への出席も無く総会報告ありませんでした。このまま放置しますと、関東地区の同窓会活動の低下のみならず、法人組織の立場上、理事を長期間、空席にする訳にはいきません。理事会でも何回も討議を重ねた結果、今回に限り仁泉会本部主宰による関東地区懇談会（仮称）を近隣の県、すなわち神奈川、千葉、埼玉、栃木、群馬の全会員に拡大し案内状を配布しました。尚、静岡県は関東圏ではありますが、数年前より定期的に支部会が開かれていましたので今回は除外しました。当日の懇談会の詳細につきましては、最近の仁泉会報にて報告致しましたが、約 40 名の参加をいただき、大学側からも、お忙しい中、植木理事長、竹中学長にご講演いただきました。この懇談会をきっかけに、会員同士並びに本部との絆も深くなったのではないかと考えております。来年の総会のお約束、将来的には理事の選出も考慮いただきました。理事選出が困難な課題として、東京より高槻への時間的制約も大きな一因と思われ、今後はテレビ会議も視野に入れて、負担を軽減したいと考えています。

仁泉会における支部は、西日本における私立医大では、久留米大学医学部に次ぐ数となっていま

すが、実際に活動している支部は関西圏が中心で、関東圏、四国圏、九州圏では一部を除いて休眠状態と言っても過言ではありません。毎年、この状況の中でも支部会を開かれている支部の先生には改めて、感謝申し上げます。

新臨床研修制度の発足とともに、大都會の病院で研修を受け、そのまま就職する同窓生も多く、地元の支部への入会者の減少、支部会員の高齢化と、ますます厳しい状況となっています。必然的に会員の母校への思い、絆も薄れ、同窓活動の低下、更には会費納入率の減少に繋がっていくものと思われます。一旦支部の活動が長期間空白になりますと、会員の支部活動に対する思いも稀薄となるばかりか、支部の運営資金も枯渇し、会の運営にも大きな障害をもたらす事が予想されます。理事会としても、根本的には現在、活動を停止されている支部が早朝に再活動される事を願っていますが、その間、今回のように支部活動が低迷されている支部に対しては、県単位の支部の枠を超え、近隣の県との合同の支部会の開催を会員の先生方に提案し、御了解いただきましたら本部でも最大限のお手伝いをさせていただきたいと思っております。以上、会員の先生方のご理解、ご協力を切にお願いする次第です。

仁泉会副理事長 安藤嗣彦（学 20 期）

仁泉会年会費 納入のお願い

年会費

平成 26 年度 10,000 円

平成 25 年度 10,000 円

平成 24 年度 10,000 円

納入のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局 会計係

お詫びと訂正

平成 26 年 7 月 1 日発行第 45 巻 6 号仁泉会ニュースに誤りがございました。

誌面をお借りしてお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

表紙（1 頁）

誤：厚さいよいよきびしい折柄



正：暑さいよいよきびしい折柄

支部だより（6 頁）左段 20 行目

誤：福田敏子



正：福本敏子

会員計報（20 頁）左段 6 行目

（高医 11 期 南保友英先生）

誤：三重県伊賀市にて



正：大阪市生野区にて

編集後記

5 月 25 日に開催された仁泉会総会の記事を掲載いたしました。ご存知のように、総会は当会の最高議決機関であります。総会案内とともに、出席がかなわない先生方には委任状の提出をお願いしております。しかし、残念ながら出欠連絡、委任状が返送される率は決して高くありません。今回は、会員数 5,486 名中、委任状を出していただいた方は 1,899 名にとどまりました。

地元医師会や、専門科別医会などの団体役員を務めておられる先生方はお分かりかと思いますが、会合を企画、運営する立場になると、出席率、定足数がとても気にかかります。また、委任状を返送していただくことで、先生方の消息や所属の変更などを確認する意味も持っており、これは同窓会として重要な仕事のひとつと考えております。今後は E-mail 等を利用した案内も考えてゆかねばなりません、「なりすまし」などの問題もあり、郵送で行っているのが現状です。返信はがきに記入、投函していただくだけです。机の上、引出しの中に返信はがきが残っていませんか。仁泉会への連絡だけでもよろしくお願いいたします。（治）

大阪府の保健所や本庁で勤務する 公衆衛生医師を募集中！ （専門分野や勤務経験は問いません）



～ 詳しくは下記にお尋ねください ～

大阪府健康医療部健康医療総務課 人事グループ

〒540-8570 大阪市中央区大手前 2 丁目

電話 06-6944-7257（直通）

電子メール kenisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府ホームページ【大阪府公衆衛生医師職員採用ガイド】

<http://www.pref.osaka.jp/chikikansen/kousyueiseishi/index.html>

または

大阪府公衆衛生医師

検索

第29回 日本医学会総会 2015 関西

医学と医療の革新を目指して
－健康社会を共に生きるきずなの構築－



事前参加登録のご案内

■参加登録料

参加登録区分	分科会応援早割 (10/31まで)	事前登録 (11/1～1/31)	当日登録
医師・歯科医師・研究者	25,000円	30,000円	35,000円
医薬情報担当者(MR)・行政・企業	30,000円		35,000円
大学院生(医師・歯科医師) および卒後5年までの医師・歯科医師 ※「臨床研修医」の方は「卒後5年までの医師・歯科医師」のカテゴリーでご登録ください。	10,000円		15,000円
薬剤師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・診療 放射線技師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・ 臨床工学技士・救急救命士・歯科衛生士・歯科技工 士・衛生検査技師・視能訓練士・義肢装具士・言語聴 覚士・病院事務・管理関係者	5,000円		8,000円
社会福祉士・介護福祉士	2,000円		3,000円
大学院生(医師・歯科医師を除く)			
学部学生	無料*		
同伴者(医療従事者以外の家族)	3,000円		5,000円

※参加登録時、過去1年以内に、日本医学会分科会学術集会／総会に参加された方は、**5,000円**の割引となります。(該当分科会の一覧は裏面をご覧ください。)

対象：「医師・歯科医師・研究者」区分のみ

※分科会応援早割は、日本医学会分科会に所属する参加者のインセンティブとして、特に勤務医の先生方に登録して頂くため設定しております。

※日本医師会認定産業医制度及び認定健康スポーツ医制度、日本医学会分科会の各取得可能単位の詳細はホームページをご覧ください。

登録は **医総会2015**

検索

テナント・物件譲渡 募集

◇所在地：西宮市津門川町 12-1

◇物件種別：軽量鉄骨

◇面積：建物 19.19 坪、土地 28.65 坪（前面に小型軽、自転車等駐車可）

◇募集科目：各科可（歯科可、現況は針灸整骨院で患者多数）

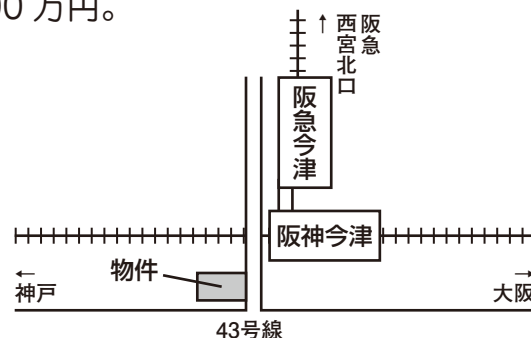
◇その他：今津駅より徒歩 30 秒の表通り、直近に調剤薬局あり。

テナント月 20 万円、譲渡約 3,000 万円。

引渡 9 月末ごろ。委細相談。

◇お問い合わせは、

090-9695-6399 学 33 期 藤井まで



医療ビルテナント募集

場所：大阪市浪速区難波中 2 丁目 3-3

3F エリア：約 40 坪

坪単価 12,000 円（要相談）

保証金 家賃の 10 ヶ月分（要相談）



クリニックビルのテナントを募集いたします。3F エリアになります。

1-2F は、内科・胃腸科
4F は、皮膚科・形成外科
5F は、婦人科
開業中
大阪難波駅すぐという好立地条件。

開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはお電話にて。

学 36 期 森川浩志

心療内科・眼科・耳鼻科など最適

お問い合わせ先
仁泉会事務局
TEL 072-682-6166

“大阪医科大学関係者の皆様”へ

FELICE で フェリーチェ 理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、
医療の第一線でご活躍の医師・歯科医師を中心にお迎えし、
理想の結婚をプロデュースすることを目的として
創設された会員制クラブです。

万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター
だからできる「洗練された出会い」をあなたに。

< 成婚事例 >

男 性		女 性	
31歳 大阪医科大学 医師	♥	29歳 大阪外国語大学 会社員	
39歳 関西医科大学 医師	♥	33歳 兵庫医科大学 医師	
35歳 大阪市立大学 医師	♥	31歳 大阪医科大学 医師	
34歳 慶應義塾大学 医師	♥	26歳 神戸女学院大学 英語教師	
36歳 神戸大学 医師	♥	33歳 関西医科大学 医師	
37歳 大阪医科大学 医師	♥	31歳 山口大学 医師	
37歳 大阪大学 医師	♥	30歳 武庫川女子大学 薬剤師	
33歳 大阪医科大学 医師	♥	27歳 神戸薬科大学 薬剤師	

大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、
医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、
最適な相手をご紹介します。

●入会資格

◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師

◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒以上

男女ともに結婚をお考えの独身者の方

※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 www.felice.cc

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

フェリーチェ

検索

※「フェリーチェ」で検索してください。

フェリーチェはおかげさまで **創立12周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容の的確さ」「スタッフのサポート体制」など
11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オリコン株式会社調べ) との評価をいただきました。

今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

無料 親御様向け説明会のご案内

- 開催日時：9月2日(火)、4日(木)、9日(火)、11日(木)、12日(金)、18日(木)、19日(金)、
25日(木)、26日(金) 各日14:00～
- 会場：芦屋ラウンジ・銀座ラウンジ
- 専用ダイヤル：芦屋 0797-25-1076 / 銀座 03-6228-5720 (10:00～20:00、水曜定休日)

毎月1300件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社
www.prime-marriage.com



結婚相手紹介サービス業認証機構より適正な
サービス事業者として認証付与を受けています。



経済産業大臣認定
「認定個人情報保護団体」対象事業者

個人情報管理・プライバシー保護には
細心の注意を払っています。

芦屋ラウンジ 〒659-0068 兵庫県芦屋市葉平町6-16 芦屋ファルファール4F 梅田ラウンジ 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル11F 銀座ラウンジ 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F